

アセンション BOOK 40

闇の創造主からの解放 3

2018年 9月

闇の創造主からの解放 3

地球人の意思と古の地球種族



地球人の意思と古の地球種族 目次

- 第1章 ブラックピープルとホワイトピープル
- 第2章 それぞれの世界に行く人々の意思
- 第3章 覚醒の種族の救出
- 第4章 すべての闇を生み出す創造主の計画
- 第5章 すべての闇を生み出す創造主の復讐
- 第6章 第24評議会の創造主の最終試験
- 第7章 光のピラミッドに仕掛けられた罠
- 第9章 アセンションを助ける種族の救出
- 付録 アセンションの目的について
光の世界の区分

作者 瀬戸武志&宇宙の光

アセンションブック <https://www.k-suai.com/>

宇宙の光公式HP <http://hikari1.com/>

アセンション評議会 <http://s-sun1.com>

アメブロ光の世界 <http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI yume34@k-suai.com

イラスト

えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

第1章 ブラックピープルと ホワイトピープル

PART1 「紫ピラミッド」に対抗する新たな ダークピープル達

2018年の9月になると私達の状況はまた大きく変わりました。

現在の地球人は、「紫ピラミッド」が仕掛けたいいくつもの罠により、愛の度数が著しく低下しており、その罠を解除したとしても、光51%以上の世界にはすぐに行く事が出来ないと、創造主達は判断したようです。

しかしながら、様々なエネルギーが混在する地球の物理世界を今のままにしておくと、アセンションした世界に向かう可能性を持つ地球人は、光40%台の人と一体化したダークピープル達により、新たな罠を仕掛けられ、再び魂の自由を奪われてしまうのは間違いないようです。

創造主達は、スピリットが光の世界に行く事を希望している人達を一旦「光の保護区」に集めて、そこでクリアリングや浄化をおこない、愛の度数を高めてから光51%以上の世界に送り込む事を決定しました。

そして私達も、様々な問題を抱えている人達の重荷をおろしてあげて「光の保護区」へと導かれていくことをサポートするために、「6大天使による光のピラミッド」のセッションをおこなう事になりました。

スターピープルや大天使達も、スピリットが保護区に行く事を決めている人々を「光の保

護区」に誘導するために活動を始めたのです。

私達は、一旦は「光の保護区」に入る事になりましたが、光 40%台の世界で行うべき事が沢山あるようですので、もう一度「光の保護区」の外に出てきました。

その為に、9月になると私達の体調は非常に悪くなりました。

私は、頭痛がしたり体がふらふらして動けなくなったりしました。

恵理さんも、お腹が張ったり、体がつったりして妊娠の進行にも差し障りが出るようになってしまったのです。

その原因はいくつかあったようです。

主な原因は、私達のセッションを受ける人の中には、様々なヒーリングやスピリチュアルな活動を行っている人達がいて、その人を通して、私達の体のなかに光 40%台前半のエネルギーが流れこんできたためです。

そしてその人を通してダークピープル達が、私達に直接サイキックアタックを行う事が増えてきました。

特に憑依霊の解消や偽ガイドの処理などを行う時に、そのような存在と直接関わることで、恵理さんへのダメージはとても大きなものとなりました。

そして、もう一つの原因は、私達が光 40%台の世界を支配している「紫ピラミッド」と毎日のように攻防を繰り返している中、「紫ピラミッド」にとって変わろうとする新たなダークピープル達が現れてきたのです。

私達は、「紫ピラミッド」のダークピープル達にてこずっているうえに、さらに新たなダークピープル達が現われてきたのですから、

非常に厄介な事になってしまいました。

新しく表れてきたダークピープル達は「宇宙に闇をもたらす創造主」によって地球に招き入れられたダークピープル達でした。

光 40%台を支配する創造主達である「闇の創造主を統治する創造主」は、このダークピープル達が地球に入ってきた当時は、まだ大きな力を持たないダークピープルでしたので、「紫ピラミッド」の学びのために役に立つだろうと地球にはいり込んでくるのを黙認していました。

しかし、これから 100 年後、このグループはとても大きくなり「紫ピラミッド」を凌駕するだけの力を持つダークピープルに成長していくことになるのです。

そのダークピープル達が、私達の体の中に自分達のコントロール装置とも言えるコードを埋め込んで私達の行動を見張り、私達が何をしているのか探ろうとしてきたために、私達の体は大きな不調を引き起こしてしまいました

彼らは「紫ピラミッド」の事を詳しく知りたいために、私達の中にある情報を盗み取ろうとしてきました。

そして「紫ピラミッド」が行ってきた事を模倣しながら、地球の人々を取り込んでいこうとしたのです。

また私達が「紫ピラミッド」のダークピープル達によって囚われた人々を解放する事で「紫ピラミッド」の力が弱まり、自分達の力が相対的に大きくなる事を喜んでいるようです。

このダークピープル達は、すでに多くの地球

人を取り込みつつあります。

彼らも「紫ピラミッド」のダークピープル達のまねをして、地球人と一体化して物理世界に入り込み、地球を支配しようと企んでいます。

最近、私達のセッションを申し込んできた人達もそうでした。

「紫ピラミッド」のダークピープル達とこの新たなダークピープル達から二重支配を受けている人達が増えてきたのです。

さすがに「紫ピラミッド」のダークピープル達だけでも大変な苦勞をしていますので、2種族のダークピープル達が同時に関わってきたらとんでもない事になります。

そのような方達のセッションはお断りする事にしていますが、事前にその事が分からない場合も多く、セッションを行ってみて苦勞する事が良くあります。

私達の中の情報は、スターピープル達が嚴重に守っているために、新しいダークピープル達が、その情報を知る事はできませんでした。反対に、私達は彼らの中に入り込み、彼らがこれからどのような計画を持っているのか、どのような支配を企んでいるのか、調べる事ができました。

光40%台の創造主達である「闇の創造主を統治する創造主」も共に来て、彼らの状況を詳しく調べていきましたが、このダークピープル達の内部の状況を見てかなり驚いていたようです。

彼らが、「紫ピラミッド」に代わって、地球を支配する計画を持っていた事を「闇の創造主を統治する創造主」は知らなかったようです。

光 40%台のスターピープル達が、すぐに彼らの監視をする事になりました。

私達は、彼らの調べが終わったら、スターピープルにお願いして、このダークピープル達を私達から完全に分離する事にしました。

もう気持ちが悪く、頭痛がして仕方がないからです。

PART2 漆黒の闇の世界から来たブラックピープル

そして私達は、「紫ピラミッド」のダークピープル達やあらたなダークピープル達によってつけられていたネガティブコードを処理している時に、大変な出来事に遭遇いたしました。

それは、私の会社に新しいスタッフが入社して研修を行っている時の事でした。

彼女はヒーリング等にも興味を持っている女性でしたので、自分が気づかないうちに、レイキに少しばかり関わりがある施術を学んでいたようです。

体が弱っていた私は、彼女の研修を行っている時に、現実的な肉体とチャクラにダークピープル達のネガティブコードをたくさん付けられてしまったのです。

そのおかげで、私の体調はますます悪くなってしまいました。

私達とスターピープル達は、このコードを外すために、私の体に付けられたコードを辿って「紫ピラミッド」の奥深い場所に入っていました。

私達が行きついた場所は、宗教やヒーリング、スピリチュアルな世界で、実際に活躍している人々と一体化したダークピープル達が勢揃いしているような場所でした。

そのコードを付けたダークピープルを調べると、私につけられたコードは「紫ピラミッド」のダークピープル達が、私達をコントロールするためのコードだということが判りました。

おかげで、私の頭痛は大変なひどくなりました。

私達は、さらにそのコードを辿っていくと、広いホールみたいな所に出ました。

私達はその場所に何があるのか最初は見当もつきませんでした。

非常に力強いダークピープル達がたくさんいましたので、私達はこの場所に重要な種族がとられているのではないかと思い、探す事にしました。

しかしながら、私達が見つけたのは、今までに見た事がないほど力の強いダークピープルでした。

それもただのダークピープルではなく、自らが闇のパワーに満ち溢れたダークピープルだったのです。

このダークピープルを、スターピープル達に調べてもらおうと、これは地球のダークピープルではなく「異なる宇宙」からやってきた「ブラックピープル」と呼ばれている存在だと分かりました。

そのブラックピープルは、ダークピープル達の後ろに隠れて、ダークピープル達に特別な力を与えているようです。

今までヒーリングやスピリチュアルな活動を行う人達の多くが、特別な力を求めてきましたが、そのような人達に対して、ダークピープル達が特別な力を与え、その代償にダークピープル達がその人達の魂を支配するという事を、私はよく述べてきました。

人々に与えられる特別な能力、特別なパワーというのはまさにこのブラックピープルから与えられた力を利用して、ダークピープル達が人々に与えているものでした。

ブラックピープルは、とても強い力や能力を持ち、そのエネルギーをダークピープル達に与え、ダークピープル達がその力を使って人々に特別な力や能力を与えていたという構図が私達にも見えてきました。

そしてダークピープル達によって特別な力や能力を与えられた人達は、ダークピープルを通してブラックピープルに繋がっていたようです。

そしてこのブラックピープルの裏には、ひとつの漆黒の闇で閉ざされた星が見えました。おそらくこれは「宇宙に闇をもたらす創造主」が作った闇の星である事に間違いはないようです。

このブラックピープルは、その星からやって来たようです。

彼のエネルギーもその漆黒の闇の星につながれています。

地球に、まだこのような闇の多い星がつながれていた事に対して、創造主達やスターピープル達は大変な驚きを見せています。

私は、第23評議会の創造主達にお願いしました。

「このブラックピープルと漆黒の闇の星を地球から分離する事はできませんか。地球は全ての異なる世界とゲートを閉ざす事になっていますが、このままでは光40%台の世界に、闇のエネルギーがどんどん流れ込んできてしまいます。そうすると光40%台の世界にいる人達はますます闇が深い人間になってしまいます。この世界をどうにかして分離してください。」

第23 評議会の創造主は他の創造主と相談しています。しかしながら、答えは私達の望みどおりの答えではありませんでした。

「TAKESHIさん、この漆黒の闇の星とブラックピープル、そしてブラックピープルからダークピープルを通して与えられた力を、地球人の多くが望んで使っているために、このブラックピープルと闇の星をこの世界から分離する事は不可能です。もし光40%台の世界にいる地球人達がこの力を必要とせずに、ダークピープル達やブラックピープルとの関係を切りたいと思うのならそれも可能でしょう。」

しかし多くの地球人が、この力を求めている以上、この星とブラックピープルを地球から分離する事はできません。私達もそれは非常に困った事になったと思います、何とか方法がないかと探したのですが、これが宇宙のルールですので分離する事はできないようです。」と創造主も困った顔で答えました。

「分離する事ができなかったとしても、ブラックピープルやこの闇の星の力を抑える事はできませんか。」と私は尋ねました。

創造主はこのように答えました。

「私達は、それを試みようとはしましたが、それも難しいようです。

「紫ピラミッド」そのものが、この力をベースに成り立っているからです。

ブラックピープルは、ただ「紫ピラミッド」のダークピープル達の求めに応じて、その力を与えているだけに過ぎません。

ブラックピープル自体が、光 40%台の世界を統括しようとかこの地球を支配しようという気持ちは全くないようです。

ブラックピープルがダークピープルに力を与える理由は、彼らがブラックピープルの力を求めているから与えるという事に過ぎないようです。

それを利用しているのはあくまでも「紫ピラミッド」のダークピープル達であり地球人ですから、このブラックピープルに責任はないと考えられます。」

私はこの事実を知ってとても苦しい思いがしました。

それは私達だけでなく、スターピープルやこの物理世界に近い創造主もきっとそうでしょう。

私達は様々な苦勞をして「宇宙に闇をもたらす創造主」や闇の創造主、そして異なる世界から来たダークピープル達をこの地球から一掃してきたのですが、この「紫ピラミッド」の一番深いところにブラックピープルが残っていたという事に対して、私達は大変な失望を持ちました。

しかしながら創造主やスターピープル達の

中では、光 40%台の世界には、間もなく私達は関わる事がなくなるから、私達が関わっている間に出来る限りの問題を解決して行けば良いのではないかという判断になったようです。

PART3 ブラックピープルとホワイトピープルの秘密

しかしながら、その時どこかで「ホワイトピープル」がいるというような声が聞こえてきました。

この闇が深い星から来たブラックピープルとまるで対になっているような存在が ホワイトピープルだという事を、私達に知らせてきてくれたようです。

ホワイトピープルの事をスターピープル達に聞きましたが、ほとんどのスターピープルがこのブラックピープルの事もホワイトピープルの事も詳しくは知らないようです。

私達はホワイトピープルという存在を呼び出してみる事にしました。

「ホワイトピープルよ、もしそのような方がいらっしゃればここに来てください。

私達の前に現れてください。」とお願いしました。

すると私達の心の中にすっと白い光が浮かんできました。

私はその白い光と恵理さんを通して対話する事にしました。

「あなた方がホワイトピープルと呼ばれている存在ですか。」

すると、ホワイトピープルはそうだと答えました。

「あなた方の事を私達に教えていただけませんか。」と私は尋ねました。

するとホワイトピープルの強い意識が恵理さんの中に、流れ込んできました。

「私達ホワイトピープルはブラックピープルと対になった存在です。

裏表のような存在、もっと的確な言葉を使えば、光と闇のような関係と言ったらよいでしょう。

私達とブラックピープルは共に協力し合いながら世界を見守っています。

ブラックピープルの力はとても強く多くの人達を魅了しています。

そしてブラックピープルの力を必要とする者達に力を与え、その者達の思いを実現させてあげる事ができるのです。

ただしブラックピープルの力を使う者達が増えてくれば、その世界はとても闇が多い世界になります。

そして、ブラックピープルの力を使う者達が行き過ぎた考えを持つようになると、その人はとても独裁的になり、その世界は歪んだものになってしまうのです。

そのようになった時に、私達ホワイトピープルはその世界を是正するために力を発揮します。

つまりブラックピープルの力によって、その世界が偏ったものになった時に、私達はそれを正しい方向へと戻していくという仕組みを持っています。

皆さんの言葉でいうと、調和を取り戻すといっても良いかもしれません。」

ブラックピープルの存在に打ちひしがれて

いた私達は、そのような存在がいたのだという事を初めて知り嬉しくなりました。

彼らは自分達の事を「純粋なエネルギー」と表現していますので、ホワイトピープルという呼び方は適切なものではないかもしれませんが。

地球のダークピープル達が「宇宙に闇をもたらす創造主」によって、漆黒の闇の星と繋がった時に、このブラックピープルと同時にホワイトピープル達も一緒に来たようです。

そしてホワイトピープル達は長い間ブラックピープル達と地球の様子を見ていました。

私はホワイトピープルに尋ねました

「あなた方は、今までブラックピープルとその力を使ったダークピープル達が、多くの人達を虜にして、その魂を支配してきました。そして多くの人達の命がたくさん奪われてきた事を御存じだと思いますが、この事に対してなにか行動を行っていたのですか。」

ホワイトピープルは、このように答えました。

「いいえ、私は私達の事を求める人がいない限り動く事はありません。

今までは、そのような人達がいなかったために、私達はただ状況を見守っていただけなのです。」

このホワイトピープルはブラックピープルと同じで、その力を求める人がいない限りは何もできないという仕組みになっているようです。

確かに彼らは物理的な存在ではありませんので、この地球の出来事に勝手に介入する事は許されていません。

「それでは、私達があなたがたの力を求めれ

ば、この地球が闇の多い世界から少しでも光が多い世界に変わる事をお手伝いして下さる事もできるのですか。」と尋ねました。

「もちろんです、そのために私達は存在しているのです。」とホワイトピープルは答えました。

「それでは、このダークピープル達がブラックピープルの力を借りて行なってきた事を元に戻していただきたいと思いますができますか。」

ホワイトピープルは少し状況を考えているようです。

「もちろんできます。
しかしそれを行うためには、ブラックピープルの力によってコントロールされている人達、あるいはそのような力の影響を受けている人達が、私達が介入する事を望むという事が大切な事なのです。
それがなければいくら私達でも、許可のない人々を救う事はできません。」

これはこの宇宙のルールに従わなければならない事ですから仕方がありません。

「わかりました。
ではそのようにお願いしたいと思います。と私は答えました。」

私達とホワイトピープルの会話はそこで終わりました。

そして私達はともに「紫ピラミッド」の一番深い場所から出てくる事になりました。

PART4 ブラックピープルのコード

その夜の事、私達は相変わらず頭痛と体調不良に悩まされていました。

私の体やチャクラには、先日つけられていたダークピープル達のネガティブコードが残っていたからです。

スターピープル達がこれらのコードを外そうとしているようですが、ブラックピープルのエネルギーがこのコードには入っているようですので手間取っています。

そこで私は、ホワイトピープルにこのコードの処理をお願いできないかと思いました。

「ホワイトピープルよ、私の体に取り付いているネガティブなコードにブラックピープルの力が加わっているようです。

このコードを取り外してもらえませんか。」
ホワイトピープルはすぐに、私達のもとにやってきてくれました。

「TAKESHI さん、あなたのチャクラの上についているスライムみたいなエネルギーは、その人のチャクラの働きを狂わせてしまいます。

そして正常な判断力や思考を麻痺させてしまうのです。」

ホワイトピープル達は、このスライムのようなコードをすぐに取り外してくれました。

「ホワイトピープルよ、ありがとうございます。

このチャクラに取り付いているコードは、以前私がレイキの伝授を受けた時についたコードと同じものです。

ダークピープル達が関わっているヒーリングやスピリチュアルな施術を受けたり、そのヒーリング等を自分自身が行う事でこれらのコードは全ての人のチャクラにつくので

しょうか。」

ホワイトピープルはそのコードを調べながら答えてくれました。

「これは、とても初歩的なコードです。さほど強いものではありませんが、このような事に不慣れな地球人は、このコードだけでも、簡単に騙されてしまう事でしょう。それよりも、もっと大きなコードが、あなたの頭の中で動いているようです。あなたの頭痛の大きな原因となっているのは、そちらのコードのようです。」

私は、やはりそうだったのかと思い、その処理をホワイトピープルにお願いしました。すると、頭の中央から真っ黒い巨大な金平糖のようなものが浮かび上がってきました。それは以前、私達が「ネガティブコードの除去」というセッションをおこなっていた時に見つけたコードでした。

ネガティブコードは、体の 5 層に分かれた場所にそれぞれつけられています。

1 層から 3 層までの表層意識や潜在意識に取り付けられているコードは、外すことがさほど難しくなかったのですが、今回出てきたコードは、人の魂の場所でもある第 5 層にしっかりと取り付いていて、私達も取り外す事が出来なかったコードです。

「ホワイトピープルよ、このコードは、私達の魂の奥深い場所についていて、私達が何度トライしても外す事が出来なかったコードですが、これはブラックピープルの力とも関係しているのですか。」

「このコードを皆さんが自分達のカで取り外す事はまず無理でしょう。」

このコードは、ブラックピープルの力そのものと言っても良いコードです。

そして地球のダークピープル達が、自分達に服従するようにプログラムを入れて取り付けています。

私達が見たところ、チャクラのコードは、ダークピープル達に関わりをもっている人達は皆つけられているようですが、このコードを付けられている人達はそれほど多くないようです。」

私はホワイトピープルに尋ねました。

「このコードはどの様な人達に付けられているのですか。」

「主に、ダークピープル達によって作り出されたヒーリングやスピリチュアルな施術を、多くの人達に提供している人や他人に教えている人達です。

つまり、ヒーリング等の仕事をしている人、セミナーや伝授などの講師を行っている先生達に付けられています。

そして、その人達を通して、ダークピープル達が、さらに多くの人々に、このコードを付けていっているのです。」

確かに私も、以前はレイキのグループを作り、鹿児島を中心に多くの人達に伝授を行ってきました。

その頃は、私もダークピープル達の忠実な「しもべ」だったのでこのコードが付けられたのです。

私を、レイキのゲートを閉じ、ダークピープル達と繋がっているコードを取り外すために、文字通り死ぬほどの苦勞をしてきましたが、それでもこのコードは外せなかったのです。

ホワイトピープルはいろいろ調べながら、地球人の体に詳しい「ソラリドット星人」や「クワトロ星人」達と協力しながら、このコードを取り外しているようです。

時々ホワイトピープルが放つ白銀色の光が、この黒いコードに当てられて、コードの機能を無効にしている様子が見えます。

ホワイトピープルもこのコードを外すのは初めての事でしたので、様々な事を調べながら丁寧に外しているようです。

これを無理やり外そうとすると、その人の脳神経に大きなダメージを与えてしまう可能性もあるためにとっても危険なようです。

しかし、一度外し方が分かると、このコードを外したいと願う人が現われた時に、すぐに外してあげる事が出来ます。

暫くすると、取り外しが終わったようです。

「TAKESHI さん、無事にブラックピープルのコードを外す事が出来ました。

皆さんの宇宙のスターピープル達が協力してくれたおかげで、TAKESHI さんにもダメージを与える事が無く終わりました。

これで、TAKESHI さんとブラックピープルの関係は切れる事でしょうから、このコードを使ってダークピープル達が、あなたを攻撃したり、あなたを利用しようとする事も無くなる事でしょう。」

私はとても安心しました。

「ホワイトピープルよ、ありがとう。

あなたと出会えたおかげで、私達はとても大きな希望を持つ事ができた。

多くの人に、ヒーリングやスピリチュアルな活動を通して、ダークピープルから様々なコードが付けられている事を、私達は分かって

いるのですが、このコードを外す事が出来なくて困っていたのです。

皆さんが協力してくだされれば、その事も解決する事ができ、今まで以上に多くの人を光が多い世界へと導く事が出来ます。

どうか、これからも協力をお願いします。」

「もちろんです。

その人が真剣に、これらのコードを取り外す事を望んでいるのならば、私達はお役に立てると思います。」

私達は、ホーリーの種族と出会う事で地球人の遺伝子の中でもダークピープルの遺伝子とすり替えられた遺伝子の修復を行う事が可能となりました。

私達は、光の世界に行く事を望む人達のために、新しいアチューメントを作り出そうと、その頃考えていたのです。

そしてこのホワイトピープルと出会う事によって、いままで外す事が出来なかった深い層のネガティブコードやダークピープル達のコードを外す事ができれば、その人をダークピープル達の支配から自由にしてあげる事が出来るようになるからです。

これは、光の世界に行きたいと願っている地球人にとってみれば、奇跡的な救いとでもいえる事です。

私は、ホワイトピープル達に、地球の人々のアセンションのために、私のアチューメントに協力してもらえるようお願いする事にしました。

第2章 それぞれの世界に行く人々の意思

PART1 オリオンコードの秘密

その夜も私達は体調の悪さに悩まされていました。

私達にまとわりつくネガティブなエネルギーや黄泉の世界から送られてくるエネルギーを浄化しながら、自分達のエネルギーを整えていたのですが、それでもまだ私達の頭痛や体調不良は止む事はありませんでした。

私は、頭痛の原因を調べるために、自分の意識を自分の頭の中に向け、スターピープル達と同調して私の頭の中を調べてもらいました。

もちろん ホワイトピープルやホーリー達が第1評議会のスターピープル達と一緒にあって調べてくれました。

そうすると、昨日見つけたブラックピープルのネガティブコードと同じようなコードがもうひとつ出てきました。

これも真っ黒で金平糖のようにイガイガしています。

このコードを調べてもらおうと、これは地球の現実世界を主に支配しているオリオン座のダークピープル達によるコードである事がわかりました。

オリオン座のダークピープル達は「紫ピラミッド」の重要なメンバーでもあり、地球人とも深い関係にあります。

本来はオリオン座のスターピープル達が、地球の中で優良種族を産みだすために、地球人の遺伝子に対してオリオン座のスターピープル達の遺伝子を組み込み、地球人の指導にあたる予定でした。

しかしながら「宇宙に闇をもたらす創造主」によって、このオリオン座のスターピープル達自身の遺伝子も変えられ、オリオン座のスターピープル達の半数くらいがダークピープルに変えられていったのです。

そしてオリオン座のダークピープル達は、地球人の中にも自分達の遺伝子を分け与えていますので、地球人と一体化して地球の経済や政治そして社会を支配するようになったのです。

オリオン座のダークピープル達は、地球人として活躍する事で、この地球の物理世界における支配構造を創りだし、自らその頂点に君臨することになりました。

彼らも「紫ピラミッド」の一部ではありますが、「紫ピラミッド」の地上部隊とも言えるかもしれません。

このオリオンコードをホワイトピープルやホーリーそして第1評議会のスターピープル達が丁寧に取り除いていきます。

これもブラックピープルのネガティブコードと同じように、私の脳神経の中に深く食い込んでいますので、それを取り外す事はとても危険なのです。

ホワイトピープルは自分の光を加減しながら、私の脳神経に当て、このコードの働きを無効化して取り外そうとしています。

おそらく私の頭痛の原因の一つは、私の仕事を妨害するために、このコードの働きが活性化したためかもしれません。

私達が今「紫ピラミッド」に捕らえられた人々をたくさん解放し、彼らの計画を明るみに出している事で「紫ピラミッド」のダークピープル達が、その妨害のために、私達にサイキックアタックをかけてきています。

その為に、このオリオンコードが活性化して、私達の体調を壊しているとも考えられます。

或いはこのコードは、私達が「紫ピラミッド」に従うように指示を出しているにもかかわらず、私達が「紫ピラミッド」に反抗するような事を行っているために、エネルギーの摩擦が頭痛という形で現れているのかもしれません。

しばらくしてこのコードは取れたようです。ホワイトピープルはこのコードを調べながらこのように言いました。

「TAKESHI さん、このコードはまるでネットワークのように、すべての人々やダークピープル達に繋がっています。

このコードはブラックピープルのコードと違って、誰か1人の人をブラックピープルに繋げるというのではなく、多くの人達の意識をつなげてまるで潜在意識を覆うかの如く存在しています。

そのためにこのコードを取り付けられた人達は、同じように考え、同じようにダークピープル達に服従しているのです。

このコードがあるために、地球に生きる人々はダークピープルが存在している事、そして

自分達がコントロールされている事に対して全く気づきません。

そして自分が全ての事を自分の意思で行っていると勘違いさせているのです。」

彼らが作ったこのネガティブなコードは、地球の社会・政治・経済に関わる全ての人達に対してつけられているようです。

このコードは、地球人を「紫ピラミッド」が作った支配構造の中で生きていかせるために必要なコードです。

地球の人々の意識をコントロールしてダークピープル達の存在に気付かせずに、ダークピープル達の支配を無意識に受け入れるという働きがあるようです。

さらにホワイトピープルはいいました。

「私達はこのコードに対して、私達の光のエネルギーを流してみたいと思います。

このコードに満ち溢れているダークピープル達のエネルギーの代わりに、私達ホワイトピープルのエネルギーを流す事によって、このコードが無効化していくのではないかと思います。」

ホワイトピープルは、そう言う自分達のエネルギーをこのコードに向かって流し始めました。

恵理さんはビジョンでこのコードが繋がっている多くの人達のコードが黒いコードから白いコードに変わっていく様子が見えているようです。

まるでドミノ倒しのようにひとつのコードが白くなると次のコードそして次のコードもどんどん白くなってパタパタとエネルギーが変わっていつているようです。

その状況はとても素晴らしいものです。

1つのコードから四方八方に光が伸びて行ってその先にあるコードを光に換えていきます。

そしてそこからまたさらに多くのコードに伸びて行って、瞬く間に無数のコードをホワイトコードに変えていっているのです。

しばらく時間はかかるかもしれませんが、それによってほとんどの地球人に付けられたオリオンコードがホワイトコードになっていく可能性もあります。

そうすると、全ての地球人が、ダークピープルの存在に気づき、彼らの支配から逃れようとするに違いありません。

私はこれから何が起こるのか、とても期待に溢れてその様子を見ていました。

PART2 ヒーリングに捕えられた魂達の街

そしてその夜、私達は不思議な夢を見ました。それは、私が古いビルの中で、多くの人にヒーリングのやり方や様々な考え方を教えている光景です。

これはおそらく光40%台の世界の光景のように見えますが、なぜ私がそのような場所でそのような事を行っているのか理解ができません。

私はスターピープル達に、これはどういった事なのか、何が起こっているのか調べてもらいました。

しばらくするとエレナさんがやってきて私に報告してくれました。

「これは TAKESHI さんがレイキや様々なヒーリングを行っている時に、TAKESHI さんを通して、捕われて行った人々の魂です。今でこそ TAKESHI さんは様々なヒーリングがダークピープルや闇の世界と繋がり、そのヒーリングを受ける事によって人々の魂がダークピープルやそのヒーリングを提供している闇のマスター達に捕らえられるという事を知っていますが、あなたもそのような事を知る前はレイキをはじめいくつものヒーリングを他人の方に伝授していました。

そしてその結果、あなたから伝授を受けた人やあなたからヒーリングを受けた人達は、あなたのゲートを通してこの場所に捕えられる事になったのです。

もちろんそのような事を知る前のあなたの魂やスピリット自体もこの場所に捕えられています。」

「それでは、私自身も以前は、ダークピープルの手下として、多くの人の魂を捕える手伝いをしていたという事なのですね。」

「残念ながらそのようです。昨日取り出したブラックピープルによるネガティブコードをもっている人達は、この場所と深く繋がっているのです。ブラックピープルのネガティブコードを入れられた人達は、この場所に自分の場所を作る事ができます。古びた小さなビルのような建物しかもない人もいれば、絢爛豪華なタワーマンションのような場所あるいはとても大きな商業施設のような場所を持っている人もいます。」

エレナさんの話によると、その人の活動内容や規模、ヒーリングやスピリチュアルの施術の質によって、どのような建物を持つのか、という事が決まってくるようです。

たくさんの人にヒーリングを伝授したり、教えたりしている人達は、とても大きなビルや建物を持つ事ができるようになっています。

しかしながら、この中に閉じ込められた人達は一つの建物の中だけにいるのではなく、複数のヒーリングやセミナーを受けている人達は、自分の魂がいくつにも分けられ、それぞれの建物の中に同時に存在するという事になっています。

私達はその光景をもう一度思い出しました。私が20年ほど前に、レイキ・ティチャーとして鹿児島で大きなグループを作り、活動していた時の仲間の顔が浮かんできました。今はもうかつての仲間達とは交流もなく、お付き合いする事ありませんが、その時代は私も先生と呼ばれ、多くの生徒さん達に慕われて様々なヒーリングを教えていたのです。

それがこのような場所に、私の魂と共に、その時に関わった人達の魂がすべて捕らえられている事に対して驚きました。

私は、その当時は知らなかったとはいえ、このような形で私自身が多くの人の魂を捕らえていたという事に気づかされたのです。レイキヒーリングだけでなく私がアチューメントを作った時もそうでした。

私がアチューメントを作り始めた頃は、まだ地球は光40%台の世界で、私のアチューメ

ント相手となるマスター達もまだ闇が多いマスターや女神達だったのです。

その時は素晴らしい女神、素晴らしいマスターだと思っていたとしても、やはり女神やマスター達も闇の創造主達の影響を受けており、私が作ったアチューメントを通して、この建物の中に人々の魂をとらえていったようです。

ダークピープルが私に付けたネガティブコードを外すまでは、このような場所の存在に私達は気づく事はありませんでした。

おそらくダークピープルのネガティブコードは、このような事に全く気付かせずに、自分が行っているヒーリングやスピリチュアルの活動が本当に人々の役に立っている素晴らしいものだと思込ませているのです。

そして自分自身を経済的にも豊かにしてくれ、自分自身を素晴らしい先生として崇めてくれるような人達を集めてくれるという風に地球の人々に思わせていたのでしょう。

周りを見るととても華やかで大きなビルもたくさんあります。

そしてヒーリングを会社や組織で行っている人達の場所は、まるでネオンサインで彩られた都市のようにいくつものビルが集まっています。

私は、私のビルの中に集まっている人達のスピリットを全て解放しました。

大天使やスターピープル達にお願いして、捕らわれていた魂達に理由を話し、謝罪をして、多くの魂達を私の場所から解き放ったのです。

しかしながら、私のビルの中にいた人達の多くは、他のビルの中に移っていっただけでした。

決してこの場所から出ていこうとはせずに、私の所がなければ他の場所に行くからいいよ、というような気持ちで他のヒーリングやスピリチュアルな活動を行っている人達のビルに入っていました。

わずかばかりの人々が、私達の言う事に耳を傾け、私達とともにこの世界を出て行く事ができました。

そして誰もいなくなったこの私の建物は光に返す事になりました。

しかし、この世界全体で言うと老朽化した小さなビルが一個取り壊されただけの話です。この町には多くのビルや多くの施設があって、まるでそこを遊園地のように楽しんでいる人達の魂で溢れています。

この場所が自分にとって居心地のいい素晴らしい場所のように感じている魂がほとんどのようです。

私達が、「6大天使の光のピラミッド」のセッションでヒーリングは深い闇と繋がっているという事をいくらお話ししても、多くの人達がヒーリング等の活動から離れられないのはこのように魂が捕らわれていたせいなのでしょう。

ここはあくまでも捕らえられた場所、自分の魂が幻想を見せられている場所である事に間違いはありません。

これがヒーリングの正体なのです。

私達はここに残りたいという人達に対しては、何一つ手出しをする事ができません。私達はこの町の様子を見ながらこの場所を去る事にしました。そしてもう二度とこの場所に私は戻ってこない事でしょう。

私はダークピープルにつけられたネガティブコード外す事によって、幸いにもこの場所を見つけ、ヒーリングやスピリチュアルな活動の本当の姿を見る事ができた事を幸いに思っています。

PART3 それぞれの世界に生きる人の意思

そしてしばらくした後、ホワイトピープルが私の元に報告に来ました

「TAKESHIさん、昨夜行った TAKESHIさんのオリオンコードをホワイトコードに変更し、他の人のコードもドミノ倒しのよう
にホワイトコードにしていく計画が失敗してしまいました。

一旦ホワイトコードにはなったのですが、またどこからか黒いエネルギーが入ってきて全てのコードが黒いネガティブコードに変わって行ってしまったのです。」

私は非常に驚きました

ホワイトピープルの力はとても強く、私達の宇宙のダークピープルではそれを変更する事ができないはずで

す。ブラックピープルでさえも、ホワイトピープルが出てくる事によって、自分が行った事が全て変更されてしまう事に対して、何の抵抗も持っていないはずなのです。

しかしながら、特別な能力を持っているダークピープルか闇の創造主が、ホワイトピープ

ルが行った事を元に戻したとしか思えません。

私達はすぐに調べました。

もしかしたらブラックピープルがそれを行ったのか確認する事にしました。

ブラックピープルはこのように言いました

「私はこの地球に生きる人達が望む事を行ったまでです。

この地球に生きる人達がこのコードをブラックのままにしたいと強く願いました。

そのために私は私の知っている想像主をお願いして特別な力を与えてもらったのです。

この地球に住む人達は闇の多い世界を望んでいます。

ある程度の争いや支配や略奪、騙し合う事があったとしても、それが彼らの成長であり彼らの幸福であると願っているようです。

私はこの地球の秩序を守るためにあえてホワイトコードにされたコードを元のダークピープル達のコードに戻しました。」

ホワイトピープルはその事を理解したようです。

ホワイトピープルはこのようにいました。

「分かりました。

あなたがそのように考えるのならば、それはあなたの考えとして正しいと思います。

私もあなたが繋がっている創造主に一度お会いして、私からこの事情をお話しして、どのような形でこの光40%台の世界を維持していくのか考えてみたいと思います。」

そう言うと、ホワイトピープルは私達の元から離れ、その創造主の元へと入っていきました。

そして、私達の立場からこの光40%代の世

界の秩序について話をしたようです。

ホワイトピープルは私達のもとにしばらくしたら戻ってきました。

そしてこのように言いました。

「TAKESHI さん、私達が今関わっている光 40%台の世界は、このまま光 40%台の世界として残さなければなりません。

地球はアセンションを行う事によって光 50%以上の世界と 50%以下の世界に分けられました。

それは皆さんの宇宙の創造主の意図であり、また地球に生きる人達の願いでもあるようです。

私達は光 40%台の世界に関しては、その世界に生きる人達のことを尊重しなければなりません。

たとえそれがこの世界を破壊する事になったとしても、そのことを尊重しなければならないのです。

TAKESHI さん達の意味は、光 50%以上の世界に行く人達の意味です。

皆さんは光 40%台の世界に残っている人達であったとしても、これから光 50%以上の世界に行く人達のスピリットを救出したい、そして光 40%台の世界が破滅する事なく学びの世界として成長してほしいと願っています。

しかしながら光 40%台に生きる多くの人達は、そのようには願ってはいないのです。

私はブラックピープルがつながっている創造主と話をし、それぞれの世界の人達がそれぞれの意思で願う事を行いなさいという結論を得ました。

そのために私達はこの光 40 パーセントの世界の人達が望む事を行わなければなりません。

光 40%台の世界に残る人に関しては、ダークピープルによってつけられたネガティブコードをホワイトコードに変換する事はしない事にしました。

その代わりに、この世界に残っている人の中でも、光 50%以上の世界に行きたいと思う人達のコードは変換いたします。

そして TAKESHI さん達は、光 40%台の世界から撤退する事を早急に考えなければなりません。

それが光の創造主の意図であったとしても、もう皆さんが光 40%台の世界に関わる事は無理があるようです。

皆さんの大きな光が光 40%台の光と闇のバランスを壊し始めているという事も事実のようです。」

私達はホワイトピープルの話を聞いて決断する事にしました。

私自身もこの光 40%台の世界にいる事がとっても息苦しく、私の頭痛の原因になっている事をもうすでに理解しています。

私達は光 50%台の世界に行く人達のための保護区に早く入り、保護区に来ている人達のためにセッションを行いたいと願っています。

また多くの創造主達もそのように決断してはいるのですが、一部の創造主によって私達はまだこの世界に残されているようです。創造主達はもう一度会議を開き早急に私達を撤退させるように決めました。

第3章 覚醒の種族の救出

PART1 私の未来世のスターピープル

そしてその頃もう一つの事件が私達の前に起こりました。

それは恵理さんが私達の家の中に白い服を着た存在を見かけた事から始まりました。

最初は、私の娘がその事に気づいたようですが、恵理さんが娘からのテレパシーを受けて調べてみるとそこに誰かが存在している事がわかりました。

ただその人の実体はなく、まるで映像のような姿で存在しているのです。

恵理さんがその存在は一体誰なのか調べました。

するとその存在は私自身の未来性であると答えたのです。

それは太陽種族として活躍している遠い未来の私の姿のようでした

とても匂いに敏感な恵理さんは、その存在を感じた時、私と同じ匂いがすると言っていましたのでおそらく私の未来性である事に間違いはないでしょう。

その存在は、私に対してメッセージを直接送りたいと言ってきました。

あまり他の人達には知られたくないメッセージのようですので、その夜、私1人で受け取ることにしました。

下記が未来世の私からのメッセージです。

それでは只今から TAKESHI さんにお話をさせていただきます。

私もこの日が来る事を心から願っていました。

TAKESHI さん達がこれから生きる地球と私達が存在している未来をつなぐ事ができるのか、それとも私達の間未来をつなぐ架け橋がうまくかけられないのか、私達はその事を非常に心配しておりました。

私達は皆さんが目標としている太陽種族、それも本来最初に想定されていた太陽種族とは少しばかり異なるタイプの太陽種族に生まれ変わっております。

その理由は皆さんが「宇宙に闇をもたらす創造主」達の支配から無事脱出する事ができたからです。

もしあの時、「宇宙に闇をもたらす創造主」が皆さんの宇宙に関わっているという事が分からなければ、そして地球のみならず天の川銀河を「宇宙に闇をもたらす創造主」の手から解放する事がなければ、私達のような新たな太陽種族というものは生まれる事はありませんでした。

皆さんのもとに未来から現れたフレッド達は古いタイプの太陽種族です。

それは皆さんが「宇宙に闇をもたらす創造主」達によって支配された天の川銀河そして地球の未来に生まれてくる太陽種族だったからです。

さすがに光の創造主達は、今までとは違って大きな力を持つ事になりました。

闇の創造主に負けないぐらいのパワーと団結力を持ちましたので、たとえ「宇宙に闇をもたらす創造主」が光の創造主を押さえ込ん

だとしても、皆さんの宇宙では太陽種族が生まれていました。

そのためにフレッドが時間をさかのぼってこの宇宙に入ってくる事ができたのです。

その未来では、太陽種族は、天の川銀河に起きる様々な問題を解決するために大切な役目を果たしました。

例えば、幾度も襲ってくる「闇の創造主」達の攻撃からも、自分達の宇宙を守り抜く事ができました。

そして天の川銀河の多くの種族を守り進化させる事も行いました。

あるいは、強力なダークピープルによって支配されていた星々を解放する事もありました。

いままでの地球の未来に生まれる太陽種族達は、時間をかけて成長していきました。そして太陽種族はフレッドのようなスピリチュアルレベルで活動する種族や肉体を持ちながら物理次元で活躍する太陽種族に枝分かれしながら成長していったのです。

全ての太陽種族のメンバー達が、スピリチュアル体に移行するのではなく、肉体を持ち続けながら進化した理由は、肉体を持たなければ解決できない問題という物が、今までの宇宙の未来においてはとても多かったからです。

問題はいつも物理次元で起きていました。ですから今の TAKESHI さんのように物理次元に肉体を持ってこそ初めて、この天の川銀の問題が解決できるという事が多かったのです。

もちろん太陽種族の中でもスピリチュアル的に進化して、スピリチュアルレベルで天の川銀河を守ろうとする者達もたくさんいました。

太陽種族はいくつも枝分かれして、それぞれが自分にふさわしい役目や形態を持ちながら、自分達の理想とする宇宙を作るために働いていたのです。

しかし皆さんは「宇宙に闇をもたらす創造主」を排斥して新しい宇宙を生み出しました。そのために、今までの太陽種族の役目とは異なる役目というものが皆さんに与えられる事になりました。

「宇宙に闇をもたらす創造主」がいた世界では光51%以上の世界、さらにアセンションした世界も決して安泰ではありませんでした。

本来であれば「闇の創造主」達が入れないアセンションした世界にも「宇宙に闇をもたらす創造主」達は入り込みその世界を破壊しようとしていたからです。

主に太陽種族の活躍というのは、この「宇宙に闇をもたらす創造主」が引き起こした問題を解決するという事だったのです。

しかし太陽種族が、今新たな役目と進化の道筋を得たと言っても過言ではないと思います。

それは皆さんによってアセンションした地球、光60%以上の地球は「宇宙に闇をもたらす創造主」の影響を受ける事なく健全に育っているからです。

今までの宇宙のように天の川銀河を脅かす存在もさほどなく、人々は自分達の精神性や

自分達の愛、協調性を成長させるために生きていく事になりました。

そこではスターピープル達は、とてものびやかに成長し、まるで楽園のような世界を味わっていたのです。

しかしながら、成長のためには、時々学びが必要になります。

それは決して私達が乗り越えられない学びではなく、学ぶ事を目的とする障害だった為に大きな問題は起きませんでした。

私達は、天の川銀河の新たな未来を今創造しています。

新たな天の川銀河は、いくつもの銀河が交わるような場所にあり、いくつもの銀河や異なる宇宙の人達が仲良く交流する場所というふうに移り変わってきました。

しかしながら決して問題がなかったわけでもありません。

実はその問題を解決するために必要となる種族を助け出してもらいたいのです。

それは太陽種族の精神的な学びをサポートするための種族です。

古代の地球に降り立ち、そして歴史の中からも名前も姿も消されて、未だ深い闇の中に眠っている種族がいるのです。

その種族を助けだしていただきたいと思っています。

新たな太陽種族を作るためには、その種族の遺伝子がどうしても必要なのです。

そうしなければ、私達に与えられた障害を乗り越える事ができないからです。

その障害というのは、皆さんの天の川銀河の未来において、「闇の創造主」達が多くのスターピープル達や創造主に精神コントロールを行い、天の川銀河を混沌とした世界にしようとする事です。

スターピープル達や創造主達も、瞬時に意識をコントロールされ、彼らの支配下に落ちてしまうことになっています。

しかしながら、この種族だけは、意識のコントロールを受けない種族なのです。

私達がこの種族を助け出して太陽種族の中にその遺伝子を取り込む事ができれば、私達はこの「闇の創造主」達から精神をコントロールされない種族を生み出し、この「闇の創造主」達を排斥する事ができるのです。

そうでなければ、たとえ太陽種族といえどもその精神をコントロールされてしまい十分な働きができなくなってしまうのです。

そしてこの「闇の創造主」達を排斥した後に、私達にはとっても大きなアセンションが起こります。

それは皆さんの感覚では説明する事が難しいのですが、簡単に言うならば時間と空間を自由に移動する事ができるようになるのです。

そして自らが愛の源と深く繋がり、宇宙の創造に関わる事ができるようになるためのアセンションです。

現在のスターピープルでいうと第23評議会のホーリーエレメントの種族の存在にとっても近いと思います。

太陽種族は、この捕えられた種族の遺伝子を取り入れる事で、とても短い時間でそこまで上り詰めていく事ができるのです。

高い場所に行けばそれでいいのかと言うと、そうではありませんが、この太陽種族の存在というのは第23評議会のホーリーエレメントの種族達が行っているように、宇宙の創造を手伝うことができる立場になるという事です。

もちろんそれは1000年や2000年先ではなく3万年いえ4万年先かもしれません。しかし私達が、創造主やスターピープル達の精神をコントロールする「闇の創造主」達の攻撃に飲み込まれてしまったら、その後、太陽種族の成長というものが全くなくなります。

そればかりか、天の川銀河そのものが、この「闇の創造主」達の支配を受けて、天の川銀河のスターピープル達の自由と成長もなくなってしまうのです。

そのために、今回私はあなたのもとに来たのです。

「紫ピラミッド」のダークピープル達も、通常のスターピープル達に比べれば、はるかに光が強いこのスターピープル達を手放したくないと思っている事でしょうから、皆さんで力を合わせて、この種族を救出してください。

PART2 覚醒の種族の救出

未来世の私が言うには、遠い未来に襲ってくる「闇の創造主」は多くのスターピープル達や創造主を一瞬のうちにコントロールする力を持っています。

彼の力が発揮されれば、天の川銀河のスターピープルや天の川銀河に関わる創造主達も一瞬のうちにコントロールされ、天の川銀河と私達の宇宙はこの創造主の手に落ちる事になっているようです。

それを助ける事ができるのは、この誰からもコントロールされない力を持っている種族の遺伝子を持った太陽種族だけだという事のようにです。

これまた非常に大変な事になりました。未来世の私が言う種族を助ける事ができなければ、やがて私達の宇宙は「闇の創造主」の支配を受ける事になってしまいます。私は、どのようにしたらこの種族を助け出す事ができるか、未来世の私に尋ねました。

未来世の私は答えます。

「それはすぐに分かるでしょう。この種族のスピリットと関わりを持つ人があなたのセッションを受ける事になっております。その時にこの種族を探し出す事を行ってください。」
そして未来世の私はその方の名前を言って消えていきました。

その方は三日後に私のセッションを受ける事になっていましたが、これは急を要するために、私はその方に連絡してすぐにセッションを受けてもらう事にしました。その方も私達のセッションをととても楽しみにしてらっしゃる方なので、セッションを早めてくださる事を承諾してくださりました。

そして 私達はその方のセッションを通して、この種族を解放するための行動を起こす事にしました。

スターピープル達も大天使達も勢揃いしています。

皆さん、この事の重要性が十分に分かっている様子です。

最初は通常の「大天使による光のピラミッド」のアチューメントが行われましたが、やがて彼女の心の中から救援を求めるスピリットの声が聞こえてきました

私達は、その声に従われ、捕らわれた種族の人達を探すために「紫ピラミッド」の中に入っていました。

しかしながら、声に従われて見つけた種族達はちょっと様子が異なるようです。

「私達はここにいたいんだ、どうか私達に構わないでくれ。」と言って私達を追い返そうとするのです。

私達は彼らに、「いやここは闇の世界だから、あなた方はこのような場所にいるべきではない、あなた方は捕えられているのだから、私達は助けに来たのだ。」と説明しましたが、彼らはそれを認めようとしませんでした。それどころか「いや私達はこの場所がいいのだ。

この場所から私達を助け出さないでくれ」と言い張ったのです。

私達は、彼らが精神的なコントロールを受け、そのように思い込まされているのではないかと思いましたが、そうでもないようです。彼らが本気でこの場所から出たくないと言っているようでしたし、もともとこの種族は他人からの精神コントロールを受け付けなはずです。

私達は、これには大変困りました。

この種族を助け出さないと、地球のみならず天の川銀河の未来が大変な事になるからです。

しかしながら本人達の同意なくして助ける事はできません。

彼らが自分達でここにいたいというのならば、私達はそれを認める事しかできないからです。

しかし私はふっと思いました。

これはフェイクではないか、つまり偽物の種族をここに置いて、私達が本物の種族を探し出す事を邪魔しているのではないかと思ったのです。

私達は捕らわれた種族を助け出しに来たのですが、本人達が助けたされたくないと考えている以上は撤退するしかありません。

私達がここで諦めて撤退する事を「紫ピラミッド」達は狙っているのではないかと考えたのです。

この種族はとても大切な種族なので、私達が助けに来る事は「紫ピラミッド」の者達は知っているはずです。そのために、「紫ピラミッド」はあえて偽物作り私達を欺こうとしたとも考えます。

私は未来世の私に尋ねました。

「この種族はあなたが求めている種族ですか。」

未来世の私は、しばらく調べて答えました。

「いいえ、この種族は私達が探している種族に似ていますが、エネルギーが違いますので異なる種族のようです。」

彼の答えによってこの種族が偽物である事が証明されました。

私達は、すぐにこの場所をはなれ、他の場所を探す事にしました。

するとそこから遠く離れた場所に、ひとつの種族達が見つかりました。

その種族はひざまずいて、誰かが自分達の事を救出してくれる事を一生懸命祈っているようです。

私は未来世の私に、彼らが本物の種族なのか調べてもらいました。

未来世の私はしばらく調べてこのように言いました。

「この種族が本物です。
この種族こそが「覚醒の種族」なのです。
どうかすぐに助け出してあげてください。」

私は祈っている種族達に尋ねました。

「私達はあなたの事を助けに来ました。
私達と一緒に来ますか。」
すると種族のリーダーがすぐに出てきて、私達を見て頷きました。

「もちろんです。
私達は助けを待っていたのです。
私達は地球についてからすぐに闇の存在達に捕らえられ、ここに何万年もの間、閉じ込められてきました。
私達は彼らのコントロールや支配に負ける事なく、ここで助けが来る事を祈り続けてきたのです。
私達はこの地球でやるべき事があるのです。
どうか私達を助けだしてください。」

私は「紫ピラミッド」の管理人に言いました。
「この種族は、私達によって助け出される事を求めています。
この種族は、私達が解放しますがいいですか。」

「紫ピラミッド」の管理人は悔しそうに言いました

「見つかったのならば仕方がないでしょう。どうぞ連れて行ってください。」

私達はスターピープルと大天使達に協力してもらい、すぐにこの種族を助け出す事ができました。

それほど大きな種族ではありませんが、それでも何千人何万人というスピリットがこの中に閉じ込められているようです。

「紫ピラミッド」にしてみると、この種族達の生命力と光はとても大事なものです。

「紫ピラミッド」のダークピープル達の活動の源になっていると言ってもいいかもしれません。

彼らが全て解放される事は「紫ピラミッド」にとっては大変な痛手となるでしょう。

しかしながら、これは種族の人達の意思に反して捕えているので、この宇宙では違反となります。

「紫ピラミッド」は、この場所から出たいと言っているスピリット達を止める権利は全くありません。

そして何よりも「紫ピラミッド」が恐れている事は、この覚醒の種族のスピリットが地上に放たれたならば、自分達が行っている支配の仕組みや人々の魂を捕えている仕組みを見破る人達がたくさん出てきて自分達の支配が崩れてしまう事です。

その為に、彼らが地球人に生まれ変わる事を阻止するために、この「紫ピラミッド」の奥深い場所に捕えていたのです。

私達は捕らわれていたスピリット達を解放

して、私達の世界へと連れて行く事になりました。

しかしながら、このスピリット達は何万年もの間ここに閉じ込められていたために大変に弱っています。

私達は創造主達にお願いして、このスピリット達を癒すための努力をしてくださる事をお願いしました。

第4章「すべての闇を生み出す創造主」の計画

PART1 ブラック魔道士とホワイト魔道士

私達は光が多い世界に行く人々をクリアリングする「光の保護区」に入る事によって、これからは光40%前半から中盤の人達とはあまり現実世界でも関わらない事になってくると思います。

しかしながら私達を取り巻く状況はまだまだ予断を許さないものです。

2018年の9月になって起こった台風や北海道地震、そのような状況を見てもこの地球上のエネルギーはまだまだ混沌としているようです。

私達が、ホワイトピープルの進めによって「光の保護区」に入るための準備をしている最中に私達にとってまた大きなエネルギーが襲ってきました。

9月7日の事です。

恵理さんはそのエネルギーに耐えられずソファの上で横になったまま動けない様子です。

そして私も頭痛が大変ひどい状態になって苦しんでいます。

私達はその原因を探るためにスターピープルに頼んで調べてもらおうと、私達の上空でブラックドラゴン達が大暴れをしているようでした。

「紫ピラミッド」から放たれたブラックドラゴン達が、私達がこの光 40%台の世界を確実に離れる前に光を奪うために襲ってきた可能性もあります。

私達のシェンロンやスターピープル達が、一生懸命私達を防御するために抵抗していますが、彼らも勢力を集めて多数のドラゴン達を従えて、私達にサイキックアタックを行ってきているようです。

とても多くのブラックドラゴン達が私達のシェンロン達と戦っています。

私は、ホワイトピープルに、この状況をどうにかできないか、相談しました。

このブラックドラゴン達は、人と一体化しているために光に返す事も出来ず、次々と襲ってくるドラゴン達に、私達のドラゴンや光のシェンロン達も傷つけられ苦しんでいます。

ブラックドラゴン達の狙いは、この地球のエネルギーを混乱させて、多くの自然災害を引き起こし、人々に不安や恐れをいだかせる事です。

そうする事で、地球人はネガティブな感情にとらわれアセンションする事ができなくなります。

私は、ブラックドラゴン達の攻撃から、地球と人々を守る方法はありませんか、とホワイトピープルに尋ねました。

「皆さんは「光の保護区」に撤退する事を決めましたので、そのような人々に対して攻撃を行ってくるという事は通常はありえない事です。」

ホワイトピープルもその事を不思議に思い調べ始めました。

そうするとこのブラックドラゴンの中心に魔道士がいて、その魔道士がドラゴン達を操っているという事が判明しました。

ホワイトピープルは、この魔導士を捕え、彼らの力を制限しました。

するとほとんどのブラックドラゴンの姿が瞬時に消え、2体ほどのブラックドラゴンが残りました。

これは魔導士達が特別な力によって、ブラックドラゴン達を増幅し、たくさんのドラゴンを生み出して私達や地球を攻撃していたのです。

ホワイトピープルが、この魔導士達を調べると、やはり「宇宙に闇をもたらす創造主」の力がその中に隠されていたようです。

私はこの事に対する対処についてホワイトピープルに尋ねました。

「このままでは、光40%台の世界では、闇に染まらず成長したいと思っている人達であったとしても、ダークドラゴン達によってそのエネルギーを奪われてしまいます。

「宇宙に闇をもたらす創造主」の力が、魔道士達の中に入っていたという事は、正当な事ではありません。

光40%台の世界に生きる人が、この事に対処できる方法はありませんか。」

ホワイトピープルはしばらく考えた後こう言いました。

「分かりました。

これらの魔導士達に対抗する力を光40%台の魔法使いやスターピープル達に与えましょう。

そしてこのブラックドラゴンの強力な力に対抗できるような力をドラゴンやシェンロン達にも与えましょう。」

私達は光40%台の魔法使いであるマーリンやサンジェルマン、そして彼らにつながる多くの魔法使い達を呼び寄せました。そしてホワイトピープルによって、彼らは白い魔術師、ホワイトウィザードの力を得る事になったのです。

この力を使う事によって、闇の魔導士達の力を打ち破り、光と闇の均衡を保つ事ができる状態になってくることとされます。

そして光40%の世界で仕事するドラゴンやシェンロン達にもホワイトピープルは力を与え、ホワイトドラゴン、ホワイトシェンロン達を生み出していったのです。

闇の魔導士達によって力が増幅されたブラックドラゴン達が数多く戦いを挑んできたとしても、もう私達のシェンロンやドラゴン達は光40%台のドラゴン達に力を貸す事ができなくなります。

そうすれば、今までの光40%台のドラゴンであればあっという間にやられてしまい、回復できない状態になってしまうでしょう。

しかしながらホワイトピープルによって与えられた力をホワイトドラゴン達が身につける事によって、ブラックドラゴン達に対してもある程度対抗ができるようになり、光40%台の世界を守る事ができるようになるかと思えます。

しかしながら私達ができる事はこのくらいなのです。

私達がこの処理をしている間に、また私達の前に3人の魔導士達が現れ、サイキックアタックを行ってきました。

すぐにホワイト魔導士達が来て彼らを取り押さえました。

私達は、魔導師達を捕えたのですから、彼らが捕えている多くの人達の魂を解放するために彼らのゲートを調べました。

それは、これ以上私達に関わると、皆さんが捕えている魂やスピリットを解放し助け出しますよ、という彼らに対する警告でもあるのです。

私は魔導士に対してこのように言いました。

「皆さんがこれ以上私達に関わると、私達もあなたのゲートを開いて多くのスピリットや魂達を解放しますよ、それでもいいですか。」

魔導士はそれに対して抵抗する事なく「仕方ありませんね。」と答えました

スターピープル達がこの魔道士達のゲートを開いて多くのスピリット達を解放していききました。

しかしながら、私は魔導士達が何の抵抗する事もなく、自分達が捕えているスピリットを解放していった事に少し違和感を覚えました。

そしてその違和感が起こった理由を私達はすぐに知る事になりました。

PART2 光の評議会に紛れ込んだ偽物の創造主

私達にサイキックアタックをかけてきたダークドラゴン達の処理が終わって私達が休んでいた時に、突然恵理さんの頭の中に不思議な存在がコンタクトを行って来ました。それはロシアの超能力を研究している科学者の一人のようでした。

はっきりと自分の名前を告げ、私達に教えてもらいたい事があるとビジョンを伝えてきたのです。

「私はロシアの科学者ですが、皆さんがロシアンダークピープルと呼んでいる新しいタイプのダークピープルと「紫ピラミッド」のダークピープル達が、未来で争いを起こすと思います。その未来について皆さんがどのように予知されているのか教えていただきたいのです。」

恵理さんは今までコンタクトも取った事のない存在が、これだけ鮮明な姿を持って自分のビジョンの中に現れて来た事に驚いています。

通常では、私達が許可をしない限り勝手に入ってこれないはずですが、それがなぜ恵理さんのビジョンの中に突然現れたのか不思議です。

私達はすぐにアシュタールのエレナさん達を呼んで、この存在について調べてもらいました。

「TAKESHI さん、この存在はロシアンダークピープル達に操られている科学者のようです。

現実的に生きている科学者のようですが、ロシアンダークピープルによってコントロールされて恵理さんにコンタクトをとってきたようです。

この存在とは関わらない方が賢明であると思いますので、私達の方ですぐにブロックを行います。」

そう言ってエレナさん達がブロックを行うと、この存在はすぐに消えていきました。

私はなぜこの存在が現れてきたのか不思議に思いました。

私達の体をスターピープルに調べてもらおうと、恵理さんと私の脳の後ろに送受信機みたいな機械が取り付けられているのがわかりました。

私達がダークドラゴンと戦っている間を狙って、ロシアンダークピープルが、私達に接近して、この装置を付けていったようです。そして先ほど現れた魔導士は、「紫ピラミッド」の魔導士ではなく、ロシアンダークピープル達の魔導士であった事がわかりました。

私達とこのロシアンダークピープルの魔導士達が会話をしている間に、彼らは私達にこの科学者と通信を取るための送受信機を作動させていたようです。

その後、私は創造主と話をしました。

それは私達がこのように無防備な状態にされて、ロシアンダークピープルや「紫ピラミッド」のダークピープルと関わらされている事がおかしいと思ったからです。

大天使や明王達が防御を行っているようですが、今回も創造主によってあえて防御力を低められ、このロシアンダークピープル達が私達と関わる事を許したのだと大天使や明王達から話がありました。

私はこの事に関係している創造主を呼び出しました。

「スターピープルや大天使達の防御力を弱め、私達が光40%台のダークピープルとつながる事を誰が許しているのですか。

そして私達の家にも光40%台の世界に繋がるゲート開いて、そのエネルギーを流し込んでいるのは誰ですか、すぐに私達の前に現れてください。」

私はこの事に関わっている創造主を呼び出しました。

そうすると第1評議会の「光と闇を統合する創造主」が現れてきました。

「光と闇を統合する創造主」は、私のスピリットの系列の創造主であり、以前から物理世界で共に働いている創造主の1人です。

私は「光と闇を統合する創造主」に向かって言いました。

「私達はもうすでに光40%台の世界から撤退する予定にしています。

しかしながら、何故、あなたは私達を光40%台の世界につなぎ留め、大天使や明王達の守護力を低下させて、ダークピープルの標的となるようにしたのですか？

これはあなたの意図ですか、それとも創造主全体の意図ですか。」

「光と闇を統合する創造主」はこのように答えました。

「いいえ、これは私個人で行った事です。第1評議会ではもうすでに皆さんが光40%の世界と関わらないという事を決めましたが、私はまだ調べる事、やるべき事があってこのような事を単独で行いました。」

「何故、そのような事をしたのですか。」

恵理さんは、もうすぐ子供が生まれる大切な時期に入ってきています。

あなたがした事がどれほど危険な事か分かっていますか。」と、私は問いました。

「もちろん分かっています。

しかしながら創造主としてリスクを負うのは当然だと思い、このような事をしました。」

私はこの言葉に怒りを覚えました。

それと同時にこの創造主もすでに自分の意識を失って闇の創造主にコントロールされているのではないかと思いました。

「闇の創造主」にコントロールされている創造主は、「私達は創造主だから、地球の人々のためにリスクを背負って仕事をしなければならない。」とよく言います。

それはある意味、闇の創造主による罠なのです。

私達が光 40%台の世界に関わる事で、光 40%台の闇を私達に送り込み、私達にダメージを与える、これが闇の創造主がいつも行っている事なのです。

私は第1評議会の創造主のリーダーである

「光彩の創造主」そして第8評議会、第21評議会の創造主達を呼び出して、一斉に創造主全員を調べるように言いました。

特に「光と闇を統合する創造主」が関わっている創造主の系列、これは私自身の創造主のラインでもありますが、その系列に属する創造主を徹底して調べる事にしてもらいました。

しばらくすると第8評議会の創造主から連絡が来ました。

「TAKESHI さんがおっしゃっているように「光と闇を統合する創造主」には、大きな闇のエネルギーが流れ込んでいました。そのためこの創造主は理性を失い、独断で闇の世界と関わり TAKESHI さん達に闇のエネルギーを送っていた事が判明しました。

「光と闇を統合する創造主」の後ろには、光40%台の世界の闇のエネルギーを皆さんにつなぐためのゲートが開いておりました。そのゲートに関しては、私達はすぐに処理を行って閉じましたが、この創造主の中に流れ込んでいるエネルギーは、彼だけでなく他の創造主の中にも流れ込んでいた事が分かりました。」

「それではどこからそのエネルギーが流れ込んできているのか徹底して調べてください。」

私がそのように言うと、創造主達はまた調べに行きました。

1時間くらいすると、第8評議会の創造主だけでなく第21第22評議会の創造主も出てきてくれました。

「TAKESHI さん第8評議会の中に、私達の宇宙の創造主とは異なる宇宙の創造主が紛れ込んでいたのが分かりました。そして彼の後ろに大きなゲートが開いていて、皆さんの宇宙とは関わるはずのない闇の多い宇宙と繋がっていたのです。」

私は第23評議会の創造主にお願いしてそのゲートの先にある宇宙を調べてもらいました。

これはとても難しいことなのですが、創造主のレベルによって関われる宇宙の規模が異なっているようです。

私達の宇宙と全く関係がない宇宙に関しては、第23評議会の創造主以上でなければ調べる事ができないようです。

第23評議会の創造主が、調べ終わると私達に報告に来てくれました。

「その宇宙は以前「宇宙に闇をもたらす創造主」達が関わっていた宇宙の一つのようです。地球と比べても、とても闇が深くさまざまな問題がたくさん起こっている宇宙でした。私達の宇宙の創造主は、誰一人としてこの宇宙とゲートを開く事を認めていないはずですが、もし誰かが故意にゲートを開いたとすれば、それはかなり上のレベルの創造主である事に間違いはないようです。」

私達はすぐに第8評議会に紛れ込んでいた創造主を捕えてもらい、調べる事にしました。第1評議会の「光と闇を統合する創造主」に闇のエネルギーが入れられて正常な判断を失っていた事、そしてその後ろに光40%台前半の世界と繋がる闇のゲートが開かれていた事、

第8評議会に偽物の創造主が紛れこみ、それ以下の評議会の創造主達を操っていた事、そしてその創造主の後ろに異なる宇宙へつながるゲートが開かれ、私達の宇宙に多くの闇のエネルギーが流れ込んでいた事、

そして現実世界でも、私達がロシアンダークピープルと呼んでいる異なる宇宙から来た新しいダークピープルが執拗なまでに私達にコンタクトをとってきた事など、

一つ一つがとても厄介な問題ですが、これは全てがひとつにつながっているように思いました。

PART3 「すべての闇を生み出す創造主」 の関わり

私は第21評議会から第24評議会の創造主を呼び出して尋ねました。

「私達の宇宙は、もうすでに異なる宇宙との接触をしないという事を決めたはずですが、なぜこの闇の多い宇宙と繋がっていたのか、そしてそこから創造主が紛れ込み、私達の宇宙を混乱させようとしていたのか、皆さん分かりますか？」

創造主達もその理由がわからないようです。

「私達が他の宇宙と接触しないという事を決める前にこのゲートが開かれていて、そこから創造主が紛れ込んでいたのでしょうか。」と第21評議会の創造主が答えました。

私はこう答えました。

「いいえ、そういうはずはないでしょう。以前、第23評議会の創造主が、全ての創造主をクリアリングした時に、それも全部調べたはずです。

その時には異常はなかったようですので最近起こったのではないかと思います。

私達の宇宙にゲートを開く権限を持っているとすれば、それは第20評議会以上の創造主になってくると思います。

すぐに調べてください。」

そして私は、他の創造主が戻ったあとに、第24評議会の「全ての公正さを司る創造主」に尋ねました。

「あなたは、第24評議会の「すべての闇を生み出す創造主」がこの事に関わっていないか調べてもらえませんか。」

「全ての公正さを司る創造主」は、私の言葉に疑問を感じているようです。

「分かりました。
TAKESHI さんがおっしゃるのならばそう
しましょう。

しかし TAKESHI さんが考えているような
事はないと思います。

私達の評議会のレベルになると、そのような
事をして何の意味はないと考える事が普
通だからです。」

私達は一度ここで解散し創造主達の報告を
待つ事にしました。

そしてそれと同時に第 8 評議会よりも下位
の創造主に対してしっかりとクリアリング
を行ってもらおう事にしました。

しばらくすると第 24 評議会の「全ての公正
さを司る創造主」の創造主がやってきて私達
に報告してくれました。

「TAKESHI さん、実は「すべての闇を生み
出す創造主」がこの事に関わっていたという
事を認めました。

おそらくは先日私達が光に返した「宇宙に闇
をもたらす創造主」からの指示があったので
はないかと思われませんが、それも少し不可解
な点があります。

「すべての闇を生み出す創造主」は、皆さん
の宇宙の光の創造主達が、まだまだ成長過程
なので、彼らを育てるために障害を作り出し
たと言っています。」

やはり、「すべての闇を生み出す創造主」が
裏で動いていたようです。

彼は、私達が先日光に帰した「宇宙に闇をも
たらす創造主」を生み出した創造主ですから、

私達に対して怒りの感情を抱いている可能性もあります。

私は第24評議会の「すべての闇を生み出す創造主」に私達の前に来てもらいました。

「「すべての闇を生み出す創造主」よ、あなたがこのように私達の宇宙の細かい事に関わっているとは、私は思いたくはありませんが、その事に関してお聞きしたい事がありますが、よろしいですか。」

「すべての闇を生み出す創造主」は平然とした顔で答えました。

「TAKESHIさんわかりました。どうぞ何でもお聞きになってください。」

私は、「すべての闇を生み出す創造主」に質疑を始めました。

「まず第8評議会に宇宙に闇をもたらす創造主が紛れ込んでいましたが、その創造主がやってきた宇宙との間にゲートを開いたのはあなたですか？」

しばらく「すべての闇を生み出す創造主」は考えていましたが、このように答えました。

「そうです、私がゲートを開き、創造主を迎え入れました。」

「何故そのような事を行ったのですか。」

「私には、それが必要だから行なったとしか言いようがありません。」

「私達の宇宙には、異なる宇宙とは関わり合う事ができないというルールがありますが、あなたはご存知ではなかったのですか。」

「いいえ、私はその事も知っておりました。」

「それでは、知っていながらこのゲートを開いたという事でしょうか。」

「はい、そうです。」

「そして、そのエネルギーが私達の宇宙に流れ込み、私達のアセンションを遅れさせ、私達の宇宙のエネルギーを混乱させていた事をご存知ですか。」

「その事もよく知っています。」

「すべての闇を生み出す創造主」は全ての事を知ったうえで行ったようですので、私は「すべての闇を生み出す創造主」の動機を調べる事にしました。

「あなたは「宇宙に闇をもたらす創造主」を作り出した創造主ではありますが、「宇宙に闇をもたらす創造主」が行った事は、あなたの大いなる意志の一部ではないかと考えています。

あなたはどのようにお考えですか。」

「「宇宙に闇をもたらす創造主」は確かに私が生み出した創造主であり、私は彼の事を大変信頼し大切にしてきました。

私の意志が彼の中に受け継がれているという事は紛れもない事実です。

彼も、皆さんの宇宙の「光の創造主」が責任感にとぼしく、しっかりと成長していないという事を、私同様に感じていました。

彼が行った事も、皆さんの宇宙の創造主に障害を与え、それを乗り越える事で成長させるために行った事なのです。」

「確かに、「宇宙に闇をもたらす創造主」が行った事を乗り越える事で私達は成長しました。

しかしながら、そのために払われた犠牲はあまりにも大きいものだったと思います。」

「宇宙に闇をもたらす創造主」は、地球に来たスターピープル達を捕えたり、地球人の遺伝子を改悪したりしました。

創造主として、やってはいけない事まで行っていたのではないかと思います。」

「創造主としてやっていい事とやっていけない事があるという事も私はよく知っています。

私の系列の創造主も理解しているはずです。」

「しかしながら、今回あなたが私達の宇宙にゲートを開き、異なる宇宙エネルギーを入れたという事は創造主としてはやってはいけない事にあたるのではないかと思いますか、どのようにお考えですか。」

「すべての闇を生み出す創造主」は少し考えながら言いました。

「私はこの現実世界で起こった事を見て、私達がやった事が間違いであったと理解いたしました。

私はその事で皆さんにご迷惑をかけた事を心から謝罪したいと思っております。」

急に「すべての闇を生み出す創造主」が自分の過ちを認めた事に、私は懐疑的です。

「そうですか、あなたが、自分が行った事が間違いであると分かったのならば、それはそれで結構です。

もちろん私達も地球人ですので偉大なる創造主の考え方を理解するという事はまだできません。

皆さんが、私達が理解できないような壮大な意図を持って、この事を行っているのではないかと、私は考えております。

ただ私の立場から言うと、早くアセンションを終わり、地球を光の地球と闇の地球に分離し、地球人を進化させていきたいというふうに考えておりますので、その事も理解していただけますでしょうか。」

「もちろんです TAKESHI さんや光の創造主達が行っている事に対して私は敬意を持って見ておりますので、私が迷惑をおかけした事に対して、多くの創造主達に対して謝罪したいと考えています。」

私達の話はここで終わりました

そして「すべての闇を生み出す創造主」は、私達の宇宙の光の創造主の所に行き、直々に謝罪したという事を、「闇の創造主を統治する創造主」から聞きました。

「TAKESHI さん、私達はこの世界に関わる事で、大変大きな学びを得ました。

そして学び以上のものを得たとも言えるでしょう。

先ほど第 24 評議会の「すべての闇を生み出す創造主」様が来てくださって、私達に対して申し訳なかったと謝罪していただきました。

今までの宇宙ではまずありえない事です。

上位の創造主が下位の創造主に謝罪する事など私達は聞いた事ありません。

そして何かあったら私達にすぐ相談するようにという言葉をいただきました。

それは、私達の学びを越えて本当に素晴らしい奇跡のような出来事だったと考えています。

私はこれから皆さん達と別れて、この光 40%台の世界を統治する事になりますが、

「すべての闇を生み出す創造主」様の言葉は私達にとって大変な支えになります。TAKESHIさん本当にどうもありがとうございました。」

第18評議会に属する「闇の創造主を統治する創造主」は少し興奮気味に私に話してくれました。

私達が第24評議会の「すべての闇を生み出す創造主」と話をして、彼は自分が行った事が現実世界では間違いであったという事を認めました。

そして「すべての闇を生み出す創造主」は、彼の1つ上の第25評議会の創造主から注意を受け、彼の能力は削減されたうえで、私達の宇宙への関わりから手を引く事になりました。

私達は、これで全てが終わった。

この闇の創造士の関わりが私達から無くなったと考え喜んでおりましたが、自体は大きな方向に動きました。

第5章「すべての闇を生み出す創造主」の復讐

PART1「すべての闇を生み出す創造主」の復讐

9月11日の朝の事、恵理さんがとても大きな悲鳴を上げて苦しんでいます。

恵理さんは3ヶ月ほど前から、朝起きる時に足がつったり体が痺れたりというような現象が毎日のように起こっています。

その都度、彼女にサイキックアタックをかけてきたダークピープルや闇のエネルギーを分離し、その痛みや痙攣を抑えるのですが、また翌日には同じような痛みや痙攣が起こるという事をずっと繰り返しているのです。

しかしこの日の痛みは、今までとは比べ物にならないくらい大きな痛みだったようです。彼女が寝ている時に、突然大きなゲートが開き、今まで見た事もない巨大なブラックドラゴンが彼女に直接襲いかかってきたのです。

今までは私達の守護龍であるシェンロン達が、このようなブラックドラゴンや闇の存在達から私達が攻撃される事を防御していたのですが、今回はその防御もできないくらいに素早く、そして今まで私達が経験した事もないくらい巨大な闇のドラゴンが急激に襲ってきたのです。

彼女は足の付け根が引きつって痛くてたまらない様子です。

そしてそれだけでなく、恵理さんの心臓や全身の神経にも大きなショックを受けたようです。

私達はすぐに状況を調べました。

そうすると巨大なブラックドラゴンとそしてまた今まで見た事もないほど大きなホワイトドラゴンが戦っているのです

しばらくすると恵理さんの痛みは治まってきました。

そしてブラックドラゴンは去っていたようですが、このブラックドラゴンの力はこの世界においては耐え難いほど大きなものでした。

もしこの時ホワイトドラゴンがすぐに現れて、このブラックドラゴンの働きを抑え、ブラックドラゴンの攻撃から私達を守ってくれなければ、おそらく一瞬のうちに心臓発作や精神的なショックによって恵理さんの命は奪われていたかもしれません。

そして太陽種族として生まれるべき私達の子供も生まれる事ができなかったかもしれません。

しばらくして、その時の様子を調べると、大天使やスターピープルそして光の創造主に至るまでが、一瞬のうちに凍りついたかの如く動きを封じられ、闇の攻撃をすべての創造主達やスターピープルまでもが受けてしまっていたのです。

その影響は23評議会から第1評議会の創造主すべてに至っていたようです。

私は第24評議会の「全ての公正さを司る創造主」を呼び出しました

そして一体何が起きたのか尋ねました。

「TAKESHI さん、恵理さん、本当に申し訳ありませんでした。

実は第 24 評議会の「すべての闇を生み出す創造主」が、皆さんの宇宙に対して直接攻撃を行ったのです。

昨日、「すべての闇を生み出す創造主」の力を第 25 評議会の創造主様によって削減していただいたために、私は彼の動きに気づき、すぐに皆さんを救援するために光を送りました。

その事によって「すべての闇を生み出す創造主」の力が、私の光と相殺され、皆さんに大きな被害を及ぼす事だけは避けられたのです。

とはいえ恵理さんに対してはとても大きな痛みと精神的なショックを与えてしまった事は間違いありません。

私は第 24 評議会を司る創造主として皆さんに深くお詫びしなければなりません。」

私は「全ての公正さを司る創造主」と話をしました。

「「全ての公正さを司る創造主」よ、私達を助けてくれて大変ありがとうございました。しかし、あなたがもう少し光を送る事が遅れたら、私達の宇宙は一瞬にして壊滅していたかもしれません。

それで「すべての闇を生み出す創造主」はどうしたのですか。」

「はい、彼は私達が今捕えて調べを行っています。

私は「すべての闇を生み出す創造主」に直接話を聞きたいと思い、私の前に「すべての闇を生み出す創造主」を連れてきてもらえませんかとお願ひしました。

しばらくすると「すべての闇を生み出す創造主」が、「全ての公正さを司る創造主」に伴われて私達の前に姿を現しました。

私は「すべての闇を生み出す創造主」に私達の宇宙を攻撃した事に対して、話を聞く事にしました。

「偉大なる「すべての闇を生み出す創造主」よ。

あなたはなぜ私達の宇宙に対して、これだけ大きな闇のエネルギーを直接ぶつけてきたのですか。

その事で、すべての創造主やスターピープル達も大きな被害を受けてしまいました。

あなたは、私達の宇宙を壊滅させるつもりだったのですか。」

「すべての闇を生み出す創造主」は沈黙しています。

「私達は地球人としてこの物理世界に、肉体を持って生まれて来ています。

あなたの力はとても大きく、もし「全ての公正さを司る創造主」が助けてくれなければ、私達の生命も奪われても仕方がないほどの攻撃でした。

なぜ偉大なる創造主の立場にあるあなたが、私達のような地球人に対してまで攻撃を行ったのですか。」

PART2 「すべての闇を生み出す創造主」の野望

「すべての闇を生み出す創造主」はしばらく沈黙していましたが、重々しく口を開きました。

「私は自分自身が創造主として、積極的に宇宙の創造に関わる事はありませんでした。光の創造主をサポートする者として、光と闇のバランスを満たすために闇のエネルギーを皆さんの宇宙だけでなく多くの宇宙に供給していたのです。私は私自身が主体となって宇宙を創造してみたいと思っていたのです。」

「あなたは本来「全ての闇を生み出す創造主」として大切な仕事をしていらっしゃると思います。たとえ創造の主体となる事がなかったとしても、あなたの働きは当然評価されるべきものであります。あなたの力なくしてはこの宇宙の創造は起こりえないと、すべての創造主は考えています。」

「確かにそうかもしれません。しかしながら、私は自分のやり方で宇宙を創造主したいと考えていたのです。」

「あなたが生み出した「宇宙に闇をもたらす創造主」もそのように考えていました。そして自分自身で漆黒の宇宙を作り出すために、多くの宇宙を闇に取り込んでいったのです。私達は、これは彼自身の考え方によるものだと思っておりましたが、今あなたと話をしたところ、これは、あなた自身の意志が「宇宙に闇をもたらす創造主」に引き継がれたただけだったという事がわかりました。

「宇宙に闇をもたらす創造主」は、あなたの自分自身の宇宙を作りたいという意思を受け継いで活動していたという事ですね。」

「すべての闇を生み出す創造主」は、自分が生み出した「宇宙に闇をもたらす創造主」をととても大切に思っているようです。

「確かにそうです。

彼は私にとってはかけがえのない大切な創造主でした。

皆さんは、私が生み出した闇の働きをする創造主を次々と処罰し光に返していきました。そして光の創造主を大切に扱い、まるで闇の創造主が邪魔もののように扱ってきたのです。

多くの光に返された創造主の苦しみや痛みを私はずっと受け取ってきました。

そのような差別的な行為があって良いのでしょうか。

私達は光の創造主と同じようにこの宇宙のために働いてきたのです。」

私達の胸に、「すべての闇を生み出す創造主」の言葉が重く響きます。

彼が言っている事は決して間違いではないでしょう。

私自身、闇の働きをする創造主を憎む気持ちが心の中にあつた事は隠しようもない事です。

「「すべての闇を生み出す創造主」あなたの言いたい事はわかります。

確かに、あなたが言うように、私の中にも光の創造主を愛し、闇の働きをする創造主を憎む気持ちがありました。

しかしながら、私達が光に返した「闇の働きをする創造主」の多くが、自己中心的な欲望に溺れ、スターピープルやその星に生きる人々達を無慈悲に扱い、闇の世界に長い間、閉じ込めたりしていました。

ひどい時には星同士の戦争など起こして多くの人々を犠牲にしてきたのです。

私達はその事を是正したいと思い活動してきたのです。

そしてこれは、私達の意志ではなく、光の創造主達の意思でもあったのです。」

「いえ、あなた方が行ってきた事は、あなた方の立場からこの宇宙を見て、自分にとって必要ではない創造主や皆さんの邪魔になるような創造主達を光に返していったに過ぎません。

「宇宙に闇をもたらす創造主」や「闇の働きをする創造主」は一見暴力的で支配的に見えるかもしれませんが、それは皆さんの宇宙の創造主を鍛え成長させるためにおこなっている事なのです。

私は皆さんの宇宙の創造主を見るとあまりにも生ぬるく、判断力に乏しく、行動力に十分な力が満ちていないという事を昔から何度も何度も指摘してきました。

そして光の創造主が成長するために、闇の創造主達を使って、皆さんの宇宙に混乱を起こしてきたのです。

それはあくまでも光の創造主達を育てるためです。

皆さんが考えているように、闇の創造主が皆さんの宇宙を支配し、そして全てを混乱に貶めるという事は行いません。」

「あなたがおっしゃる事は十分に理論的ではあると思います。

私達はそれを決して間違えているとは思いません。

しかしながら実情においては、「闇の働きをする創造主」達が闇に溺れてしまい、光の創

造主を成長させる事よりも自分達の欲望や支配あるいは抑圧を優先したという事実があるからです。

私はこの地球から一つ一つ創造主の階段を上りその事を観てきました。

そして自分の欲望や自己中心的な考え方で統治を行っている闇の働きをする創造主達を光に帰してきたのです。

その過程で、私達は何度も何度もサイキックアタックを受け、死の危険を味わう事もありました。

あなたが生み出した創造主のなかで、今あなたがおっしゃっている事を実行している創造主はもうすでにいないと思います。」

「すべての闇を生み出す創造主」は私に対して、とても大きな怒りや憎しみの感情を向けてきました。

「多くの闇の働きをする創造主が、今と同じような気持ちで私達に怒りや憎しみをぶつけてきました。

彼らは、自分が行っている事、自分が考えている事が正当ではないという事を本当は知っていたのです。

そして自分の中にある闇に溺れ、自らが光を奪う闇の創造主となってしまったのです。

あなたの中には、多くの闇の創造主達が処理されたという私達に対する大きな憎しみがあります。

そして怒りや憎しみがあなたの内側に大きく渦巻いている事を私達は今知りました。もしあなたが怒りや憎しみの感情を持って、闇の働きを行うのならばその闇は狂気とな

り大きな混乱を引き起こすだけだという事がわかりました。」

私は、「すべての闇を生み出す創造主」の憎しみや怒りの感情をはねのけながら言いました。

「その闇とひとつになった憎しみや怒りの感情によって、この地球や私達の宇宙は今まで支配されてきたのです。

私達は今アセンションを迎え、そのような闇のエネルギーから自由になる事を考えています。

それは私達の宇宙の最高レベルの創造主が決定した事なのです。

その事に対して、あなたが勝手にその判断を越えて、私達を攻撃し私達の宇宙に大きな闇をもたらしました。これは創造主としてあるまじき行為なのです。」

「すべての闇を生み出す創造主」は、私達に向かって強気な態度を見せます。

「私は皆さんが行っているアセンションが決して正しいものではないと思っています。創造主を成長させるためにはもっと深い闇が必要なのです。

光と闇を分離するのではなく光の創造主がこの闇を乗り越えるまでに力をつけなければならないのです。

私はそう思い、皆さんのアセンションをもう一度リセットしようと思い闇のエネルギーを送りました。」

「全ての闇を生み出す創造主よ。

その考え方は間違えていると思います。

あなたが自分の立場に固執するあまりに、この地球や私達の宇宙に対して本来行ってはいけない介入をする事はルール違反です。

そして、評議会の合意なく、私達の宇宙の創造主を壊滅させるような闇のエネルギーを送る事は、創造主としては本来行ってはいけない事なのです。

あなたの中にはもうすでに創造主としての資質がないと私は認めます。

第 25 評議会の創造主よ、ここに現れていただきませんか。」

私がそういと、今まで私達の前には開く事がなかった第 25 評議会の創造主の扉が開きました。

「偉大なる第 25 評議会の創造主よ、今の私と「すべての闇を生み出す創造主」の話を聞かれていたかと思いますが、あなたのご意見を頂きたいと思います。」

私達の前に第 25 評議会の創造主が神々しい光を放ちながら表れてきました。

全ての創造主が、第 25 評議会の創造主を迎えるように、その場に光を満たします。

第 25 評議会の創造主は、私達とその場にいた創造主達を見渡しながらこのようにいました。

「「すべての闇を生み出す創造主」が行った事は、創造主として決して行ってはいけない事であると私は考えます。

自分が生み出した創造主が TAKESHI さんや光の創造主によって次々と処理されていた事に対する憎しみや恨み妬みを持つという事は、あなたの立場としては決して行なってはいけない事なのです。

あなた自身がこの第 24 評議会の創造主という立場にしながら、そのような感情に突き動かされて下の評議会の創造主や物理世界

に生きている者達に攻撃を行うという事は創造主としてあるまじき行為です。

私は、あなたが自分の中に怒りや憎しみを持ち始めていた事を知っていましたが、どこかであなたが気づき自分自身で修正するだろうと思いつつ見守っていました。しかしながらその可能性はもうないようです。

私はあなたを光に返し、新しい「すべての闇を生み出す創造主」をあなたの代わりにその立場に置こうと思います。」

第 25 評議会の創造主がそのように言うと、「すべての闇を生み出す創造主」は大きな光に包まれていきました。しかしながら彼は最後にこのように言いました。

「たとえ私が光に返されたとしても、人々は憎しみや怒りや恐れを持ち続けるだろうそしてそれが闇の力とひとつになった時にこの世界は混乱に陥る。私はすべての人の心の中に宿り続ける。」

「すべての闇を生み出す創造主」は、そのような捨て台詞を残して光に返っていきました。

私はこの言葉を聞いて背筋が寒くなる思いをしました

今まで私達が光に返して行った闇の創造主達は、皆同じような事を言って光に返っていったからです

そして、その創造主を生み出した創造主あるいはその創造主を育て上げた創造主もやはり光に返された創造主と同じ気持ちを持って私達の活動の妨害を行ってきました。

私達は、この地球を果てしない時間にわたって支配してきた「宇宙に闇をもたらす創造主」を光に返したと思い安心していたのですが、やはり彼を生み出した創造主もまた闇の狂気の世界に落ちてしまった事が私達は悲しくてしょうがありません。

第 25 評議会の創造主はこのようにいました

「光の創造主よ、すぐに地球を含む天の川銀河をアセンションさせてください。

皆さんが多く闇の働きをする創造主によってアセンションを妨害させられ、そして度重なる闇の創造主のエネルギーによって混乱を引き起こされた事が私にもわかりました。

これは上位の創造者達の責任であり皆さんの責任ではありません。

これから、私も協力して地球と皆さんの宇宙の闇を消していきましょう。

そして光が多い世界に行ける人とそうでない人達を素早く分離して、光が多い世界に向かう人達をいち早く光の保護区にいていきたいと思います。

そうしなければ、今日の川銀河を含め皆さんの宇宙は、この「すべての闇を生み出す創造主」の闇によって大きな混乱に陥っています。

私も出来る限り、皆さんの宇宙から「すべての闇を生み出す創造主」の闇の力を抜き出していきましょう。

しかしながらこの闇の力は皆さんの宇宙のダークピープル達や闇の存在達にすでに力を与えてしまいました。

このままでは光の世界に行く人達がどんどん少なくなってしまうので、急いで準備をしてください。」

そう言うと第 25 評議会の創造主は何かを調べているようです。

「私の調べによると、現在のところ光が多い世界に行けるのはおそらく 1000 人のうち 1 人か 2 人の数しかありません。

それだけ地球に生きている人達が、闇のエネルギーによって純粋な愛を失い正当な判断力や意識進化の道を望む気持ちが失われてしまったからです。

本来は 2 割から 3 割の人達をアセンションさせ、新たな天の川銀河を生み出したいと、私達、光の創造主は考えていたのですが、その計画はもうしばらくかかるようです。

今できる事は、今の段階で光の多い世界に上がる見込みがある人達だけを救い出し、そしてその人達をしっかりと光の多い世界へと送り届ける事です。

皆さんがとても大変な思いをしてここまでやってきた事を無に帰してはいけません。やり遂げなければいけないのです。

地球と天の川銀河の未来のために、そして皆さんの宇宙をより素晴らしいものにするために、しっかりと光と闇を見極めアセンション進めていってください。」

PART3「闇の働きをする創造主達」の怒り

第 24 評議会の創造主である「すべての闇を生み出す創造主」は、私達に痛烈なサイキックアタックを仕掛けた事により、創造主としての資格がないと第 25 評議会の創造主に判断され、光へと返っていきました。

第25評議会の創造主は、その後すぐに「すべての闇を生み出す創造主」を新たに生み出して、配置してくれました。

そして新しくなった「すべての闇を生み出す創造主」から、闇の創造主の系列へと新たな闇の光が流されていったのです。

本来、「闇の働きをする創造主」というものは、光の創造主と共に働き、これから成長しようとする種族に対して闇のエネルギーを与える事で、様々な困難な状況や乗り越えなければならぬ障害を与えていくのです。

そして成長途中にある種族達は、その困難な問題を乗り越えながら成長し、アセンションしていく事となります。

しかしながら、私達の宇宙に君臨していた「闇の働きをする創造主」達は、光の創造主と協力して、種族達に対して、乗り越える事ができる障害や問題を与えるのではなく、種族の人達の魂を捕らえて成長することを妨害する事がたびたびありました。

そして、スターピープル達をコントロールしてダークピープルにディセンションさせる事によって、成長過程にある種族達に大変な問題を引き起こしてきたのです。

これからスターピープルになろうとする種族に対しても、スターピープルになるための努力や課題を与えるのではなく、そのスターピープル達の魂やスピリットを捉え、ダークピープルにディセンションさせてしまった事はとても大きな問題でした。

新しく「すべての闇を生み出す創造主」が生まれた事によって私達の宇宙にも、新たな闇のエネルギーが流れ込んできました。

しかし、新しい闇のエネルギーというのは、スターピープルや地球人の魂を奪ったり、成長を阻害するための闇ではなく、人々の成長を助け、アセンションする事を助けるための闇のエネルギーのようです。

私達はこれで私達の宇宙がとても素晴らしい宇宙に変わるだろうと期待はしていました。

しかしその一方で「すべての闇を生み出す創造主」が最後に残したセリフが気になっていたのです。

そして私達の予感はやはり当たりました。次の日の明け方、私達をととても重苦しいエネルギーが包み込みました。

恵理さんも、自分の体に多くの痛みやしびれを感じていたのです。

一体何が起きたのか、私達はスターピープルや創造主に調べてもらいました。

すると第1評議会と第2評議会の「闇の働きを行う創造主達」が、私達に対して闇のエネルギーを流し込んでいたことが分かりました。

その闇のエネルギーは、私達にとってはとても大きな苦痛をもたらすものでした。

彼らは自分達を産んだ「すべての闇を生み出す創造主」が光に返された事に対して、大きな不満や怒りを持っていたようです。

そして自分達の信頼する創造主が光に変えられた恨みや憎しみのエネルギーを私達にぶつけてきているのです。

私はすぐに第21評議会から第24評議会の創造主呼び出しました。

彼らは、おそらくこのような事が起こるだろうと予測はしていたようです。

第8評議会の創造主は、物理世界に関わりを持っている第1評議会から第8評議会の「闇の働きをする創造主達」の動きがおかしいという事を私達に報告してきました。

私達に直接怒りや憎しみのエネルギーをぶつけてきた第1評議会と第2評議会の「闇の働きをする創造主達」を、第24評議会の創造主は、すぐに光に返す事となりました。

私達は、次に第3評議会と第4評議会「闇の働きをする創造主達」を呼び出しましたそしてこのように言いました。

「あなた方の下位の創造主である第1評議会と第2評議会の「闇の働きをする創造主達」が「全ての闇を生み出す創造主」が光に返された事を恨んで私達にサイキックアタックをかけてきました。

あなた方はその事を第1評議会と第2評議会の創造主に指示を行いましたか。

あるいは、あなた方も第1評議会と第2評議会の創造主と同じように「全ての闇を生み出す創造主」が光に返された事を恨みに思っていますか。」

第3評議会の「闇の働きをする創造主達」がこのように言いました。

「私達は自分達が信頼する「闇の働きをする創造主達」が皆さん方によって勝手に光に返されたと考えています。

皆さんは、私達の言い分など何も聞かずに、そのような横暴な行為を行ったと私達は理解しているのです。

そのための復讐として TAKESHI さん達に闇のエネルギーをぶつけました。

それが何か問題がありますか。

「闇の働きをする創造主達」の言い分を聞かないような評議会などに、私達は指図を受けるつもりはありません。」

彼らは「すべての闇を生み出す創造主」の意思を受け継いでいるようです。

「すべての闇を生み出す創造主」が、自分が光に帰される間に、自分の意思はすべての闇の力によって受け継がれると言っていた本当の意味が分かりました。

「すべての闇を生み出す創造主」は自分が光に帰される直前に、全ての「闇の働きをする創造主達」に対して自分の意思を入れ込んでいたのです。

特に物理世界に近い第 1 評議会から第 8 評議会の創造主に対して、私達に対する怒りや恨みを持つようにそして「闇の働きをする創造主達」が光の創造主に屈しないような意志をあえて埋め込んでいたのです。

そのために第 1 評議会から、第 8 評議会までの「闇の働きをする創造主達」は、私達に対して恨みや怒りをぶつけるような行為を行いました。

そして評議会に対しても大きな怒りや不満をぶつけるようになっていたのです。

私は第 25 評議会の創造主である「全ての公正さを司る創造主」にこの状況を何とか修復してくれるようお願いしました。

「全ての公正さを司る創造主」は、私達の前に現れるとこのように言いました。

「やはり私達の考え通り、物理世界に近い創造主達は、「全ての闇を生み出す創造主」によってコントロールを受けてしまっていたようです。

幸い第8評議会以上の創造主に関しては、そこまで大きなコントロールができなかったようですが、地球に関わる事ができる創造主に関しては、この「すべての闇を生み出す創造主」の意思が創造主達を支配しています。私達は、この事態をすぐに収拾するように努めましょう。」

私達は各評議会の創造主に、この事態をどう修復するか、あるいは「闇の働きをする創造主達」以外にも「すべての闇を生み出す創造主」の意思が吹き込まれていないかどうかすぐに調べてもらう事になりました。

光の創造主に関しては「すべての闇を生み出す創造主」の意思は入っていなかったようですが、「闇の働きをする創造主達」に関しては全ての創造主が「すべての闇を生み出す創造主」の意思を受け継いでいたようです。その中でも特に彼の直系とも言える創造主達はその意志が固く、光の創造主達の説得も受けようとはしません。

「全ての公正さを司る創造主」はその様子を見てこのように言いました。

「私は「すべての闇を生み出す創造主」の意思が入り込んでいる創造主に関しては、もう全て光に返したいと考えています。

そうしなければ、これから地球のみならず、宇宙全体が大きな混乱や大きな問題を抱えてしまうからです。」

「全ての公正さを司る創造主」がそう言うと各評議会の創造主から「闇の働きをする創造主達」が1人また1人と消えていきました。

私達はこのような解決の仕方になってしまった事を少しばかり悲しく思いました。あの「闇の働きをする創造主達」が言った通り、私達は「闇の働きをする創造主達」達の言葉をしっかりと受け止める事なく、彼らを光に返していたかもしれませぬ。

しかしながら、このまま状況を放置しておく、「すべての闇を生み出す創造主」が持っていた狂気というものが、「闇の働きをする創造主」達に広がってしまい、私達の地球のみならずこの宇宙をどうしようもないほどに破壊してしまう恐れがあったのです。

それから2日間の間、私達は何とも言えない居心地の悪い状況で暮らしていました。

その事をスターピープルに伝えると、「今この地球は大きな混乱の中に巻き込まれています。

闇の創造主達の大きな闇エネルギーがこの世界に流れ込んできてしまったために、地球だけでなく TAKESHI さんの家のエネルギーや磁場がとても大きく乱れています。」と答えました。

創造主達はスターピープルと協力して、地球のエネルギーの調整に取り掛かっています。そしてそれと並行して、地球の保護区に入れる人達を、いまピックアップして誘導しているようです

第6章 第24評議会の創造

主の最終試験

PART1 物理次元に闇をもたらしていた 「闇の渦巻き」

全ての闇を生み出す創造主が光に返されてから、私達の宇宙は一度大きな混乱に見舞われましたが、これからは平穏な生活が始まるのではないかと私達は期待していました。

「すべての闇を生み出す創造主」が光に返された事によって、彼が作り上げてきた仕組みが私達の目の前に明らかになってきました。私は「すべての闇を生み出す創造主」が自分達の系列の創造主に、自分の意思を託しただけだろうと思っていたのですが状況は思ったよりも複雑でした。

「すべての闇を生み出す創造主」が光に返された後、彼に追従する「闇の働きをする創造主」の多くが第24評議会の創造主によって一旦光に帰されました。

しかし、その2日後、私達はとても大きな体の痛みを覚える事になったのです。まだ私達が知らない「闇の働きをする創造主」がいるのではないかと、「すべての闇を生み出す創造主」が私達の知らない仕組みを作っているのではないかと思い、私達はホーリーやホワイトピープル達に、私達の体をこまかく調べてもらいました。

そうすると、恵理さんの体には、脳から背骨そして身体全身に至るまで、いつのまにかと

ても強力なネガティブコードが入れられていた事が分かりました。

もしかしたら、このネガティブコードは彼女が生まれた時から入っていたかもしれません。

そのために彼女は10代の頃から体が痺れたり、麻痺するような状況に見舞われ、そして20歳の頃にはすでに癌を患い、余命3ヶ月と宣告されていたのです。

幸いにも、スターピープル達の必死の救いによって彼女の癌は跡形もなく消えてしまいましたし、体も元気になりましたが、彼女はそれ以来、様々なスピリチュアルのレベルでの不調を体験しながら生きてきたのです。

おそらく彼女のそのような人生に深く関わっていたのが、今回浮かび上がってきたとても強力なネガティブコードではないかと私達は思いました。

このコードは「宇宙に闇をもたらす創造主」か「すべての闇を生み出す創造主」が作ったコードではないかと思われれます。

私達が行っているアセンションのキーパーソンは、まさに恵理さんですので、闇の創造主達は、恵理さんさえいなければ、地球のアセンションは失敗すると思ったようです。

そのために闇のエネルギーを彼女の体に流し込み、様々な障害を与えるためにこのコードが彼女に埋め込まれていたと思われれます。私達は、恵理さんに取り付けられていたネガティブコードが、どこに繋がれているか調べました。

するとこのコードのエネルギーは「紫ピラミッド」の中を通り抜け、さらに地球とは異なる世界へ繋がれていっているようです。

その先にあったのは、混沌としたカオスのような闇の渦巻きです。

恵理さんに繋がれていたネガティブコードは、この大きな闇の渦巻きに繋がれていたのです。

これは「宇宙に闇をもたらす創造主」が作り上げてきた混沌とした宇宙によく似ています。

私達は第24評議会や第23評議会の創造主を呼び出して、このコードと黒い渦巻きを調べてもらう事にしました

しばらくすると第24評議会の創造主が戻ってきました。

「TAKESHIさん、このコードは確かに「すべての闇を生み出す創造主」や「宇宙に闇をもたらす創造主」達が作り上げたコードのようです。

それを闇の創造主達が、物理次元に適応できるコードに変換して恵理さんとTAKESHIさんにつけたようです。

そのために、彼らが存在していた時には、彼らの力によってこのコードは隠され、他の創造主達やスターピープル達は見つける事ができませんでした。

現在この2人の創造主をはじめ、多くの闇の創造主達が光に返された事によって、このコードを隠すものがいなくなりこのコードが浮かび上がってきたようです。

TAKESHIさんが考えているように、このコードは恵理さんが生まれた時から付けられていました。

そして彼女の原因不明の病気やいままで彼女に起きてきた多くの問題はこのコードとこのコードに付属する様々なネガティブコードによって起こされたものだったと私達も思います。」

確かに第24評議会の創造主も、このコードが「すべての闇を生み出す創造主」達によって作られたものであると確信しているようです。

第24評議会の創造主は続けて闇の渦巻きについても話しをしてくれました。

「そしてこのコードは「紫ピラミッド」の中を通過して黒い闇の渦巻きに繋がっています。この闇の渦巻きは「宇宙に闇をもたらす創造主」によって作り出された闇のエネルギーの源ともいえるものです。

この渦巻きの中にはカオスのように巨大な闇のエネルギーが存在しています。

これも「すべての闇を生み出す創造主」によって隠されていたために、今まで私達はこの存在を知る事ができませんでした。

そしてこの闇の渦巻きから、「紫ピラミッド」のダークピープル達に、闇のエネルギーが送られ、それが彼らの原動力になっていたという事も確かです。

私達は今までこのような闇のエネルギーが「紫ピラミッド」に繋がれていたという事に気づきませんでした。

しかし今となっては考えてみるならば、「紫ピラミッド」の生み出すダークピープル達がこれほど大きな力を持っている事も不思議です。

そして、地球に救援に入ったスターピープル達がすぐに捕まってしまった事など、通常の

闇のエネルギーを持った存在達ではできないような事が、地球に起きていた理由がこれで分かりました。」

私は第 24 評議会の創造主の話を聞いて、私達も今までの事がようやく理解できました。

「第 24 評議会の創造主よ、この闇の渦巻きは皆さんの力で、光に返す事ができるのですか。

この処理を、あなた方を行う事は出来るのですか。」と私は尋ねました。

「はい、これは第 24 評議会の「すべての闇を生み出す創造主」が行った事ですので、私達が責任をもってこの闇の渦巻きを光に返したいと思います。

そして「紫ピラミッド」との繋がりを絶ち、「紫ピラミッド」に過剰な闇のエネルギーが流れ込んで来ないようにしたいと思います。」

「では第 24 評議会の創造主よ、よろしくお願いします。

各評議会の創造主、そしてスターピープル達も第 24 評議会の創造主に協力してこの物理世界の闇のエネルギーを浄化して行ってください。」

「すべての闇を生み出す創造主」によって隠されていた闇の渦巻きは、とても大きな力を持っています。

それは、「紫ピラミッド」だけでなくこの物理世界に生きる全ての人達に対しても大きな影響を与えているのです。

今までの地球は、光よりも闇が多い世界ですが、この地球に闇のエネルギーをももたらしていたのが、この闇の渦巻きだったようです。

スターピープルや創造主は、地球に流れ込んでいた闇のエネルギーの処理のために一体となって働く事になりました。

PART2 第24評議会の創造主の最終試験

そして9月20日の夜のセッションでまた思いがけない事が起こりました。

それはセッションを受けている方の未来性のビジョンが、恵理さんに映し出されてきたのです。

そのビジョンは、特別な能力を持った子供達が一つの施設に集められ、何かを一生懸命行なっている姿です。

それは地球の光40%台中頃の世界の未来のようです。

おそらくこの時代は、「紫ピラミッド」のダークピープル達と「異なる宇宙」から新しく連れてこられたダークピープル達が大きな戦争を起こしている時代のようです。

そしてこの施設に集められた子供達は、サイキックな能力を使って相手のダークピープルのリーダー達にサイキック攻撃を行っているようです。

通常の攻撃が効かない以上、「紫ピラミッド」のダークピープル達はこのような能力を持った子供達を使って通常のアタック以上の攻撃を行っているようです。

しかしながら、中には逆探知を受けて、相手側のダークピープル達からサイキックアタックの応酬を受けて、命を失っていく子供達もたくさんいるようです。

そして、残酷な事に、現在様々なヒーリングやスピリチュアルな活動を行って、サイキックな能力を目覚めさせている人々の未来性がここにあるようです。

もしかしたらこの戦いのために、未来からダークピープル達がやってきて、現在の地球の人達にサイキックな能力を与えているのかもしれない。

私は、この事をスターピープルや創造主に調べるようにお願いしました。

私は、何か特別な力がここに働いているのではないかと感じたからです。

しかしながらスターピープルや創造主達はこのように答えました。

「TAKESHIさんこの世界は光40%代前半から中盤の世界の未来です。

この未来はこの世界に生きる人々達が選択した未来なので、これは避ける事ができない未来です。

そこにはあえて闇の創造主や他の存在の力は関わっていないようです。」

しかしその夜、私達の娘の美輝が大声で助けを求めるように泣き叫んでいました。

すぐにスターピープル達に何が起きているのか調べてもらいました。

太陽種族のフレッドが調べた事を報告してくれました。

「TAKESHIさん、先ほどあらわれた光40%台の未来からやってきたダークピープル達が、美輝さんの力を欲しくて美輝さんのスピリットを奪おうとしていたようです。」

もちろんスターピープル達がその事を阻止しましたが、ダークピープル達は、美輝さんがパワーの創造主の流れを引いている子供だと知って、彼女のサイキック能力を利用するために、そのスピリットを奪おうとしたようです。

そして美輝さんの遺伝子を研究して、サイキック能力の高い子供達を生み出す計画を立てているようです。」

私はこの事を強く創造主達に訴えました。

「私達の娘である美輝が非常に危険にさらされているのです。

彼女のスピリットが奪われれば、太陽種族の誕生もありえませんが、アセンションした世界の未来も変わってくる事でしょう。

この美輝の力を利用しようとしている存在がいるのは確かです。

それが誰なのかすぐに調べてください。」

しかしスターピープルや創造主達もそれを見つける事ができないようです。

私は、自分自身の意識を未来に移動させて、この施設の状況や裏で動いている存在をもっと詳しく調べようと思いました。

「「流れを作る創造主」よ、すぐに来てください。

そして私達を、サイキックな能力を持つ子供達が兵器として利用されている時代へと連れて行ってください。」

時間や空間を自由に扱う事ができる「流れを作る創造主」は、私達と創造主、スターピープル達を、未来へと連れて行ってくれました。私達は、子供達がサイキック兵器として使われている時代に入っていました。

数名のダークピープルによって管理されている施設の中で、絶望的な表情をしているたくさんの子供達の姿が映し出されてきます。

私達は時間を少し前に戻して、この施設が作られた時代に入っていきます。

すると1人の創造主が「紫ピラミッド」のダークピープル達に近づいてきて、私が力を貸してあげようと言っている状況が映し出されてきました。

その創造主をみて第24評議会の創造主が驚きの声をあげました。

「これは「すべての闇を生み出す創造主」の分身のようです。

私達のレベルの創造主になると勝手に分身を作る事など出来ないはずですし、またそれも禁じられています。

しかしながら、なぜ「すべての闇を生み出す創造主」の分身がここにいるのか私は調べてきます。」

そう言って第24評議会の創造主はすぐに戻って行きました。

私達が今回見た未来のビジョン、サイキック能力を持っている子供達がサイキック兵器として利用されている未来が、通常の地球の光40%台前半の未来ではなく、「すべての闇を生み出す創造主」の分身が関わった未来である可能性が高まってきました。

そうなれば、それは光40%台の人々が選択した未来とは異なる未来になっていく可能性があります。

しかし、「すべての闇を生み出す創造主」の分身が未来に現れた事を知って、多くの創造主達が動揺しているようです。

第25評議会の創造主によって光に返されたはずの「すべての闇を生み出す創造主」の分身が残っているとすれば、自分が光に返された事を怒って、光の創造主達に対して攻撃をしかけてくる事は目に見えているからです。

創造主達は緊急に会議を開き、その対策について話し合いを始めたようです。

そして第21評議会から第24評議会の創造主達は、この「すべての闇を生み出す創造主」の分身を探して回収する事になりました。創造主達は力を合わせて、いくつかの場所から「すべての闇を生み出す創造主」の分身を見つけだしました。

私は第24評議会に言いました。

「第24評議会の創造主よ、この事は第24評議会の創造主だけでは解決できない問題です。

第25評議会の創造主にも報告をしてください。」

私達がそのような話をしていると、やはり第25評議会の創造主が現れてくれました。

「皆さんよく「すべての闇を生み出す創造主」の分身がいた事を見抜きました。

これは私達第25評議会の創造主が、第24評議会とその系列の創造主に対して行なった最終試験です。

「すべての闇を生み出す創造主」が言っていたように、皆さんはまだまだ創造主として力不足であり経験不足です。

そのために多くの失敗も繰り返してきました。

そして皆さんの宇宙のアセンションも必ずしもうまくいっていたとは言えません。

私達は第 24 評議会の創造主とみなさんの宇宙の創造者を鍛えるために、今回の「すべての闇を生み出す創造主」の分身を作る事を彼に許可しました。

そして彼はその力を使って自分の分身を作り出し、皆さんの宇宙に様々な仕掛けを行ったのです。

その事を皆さんが見破る事ができなければ、また今回のアセンションも失敗に終わった事でしょう。

しかしながらあなた方は「すべての闇を生み出す創造主」の分身がいる事を見つけ出す事ができました。

そして皆さんのアセンションもこれでようやく成功への道が開けてきたと言えるでしょう。」

第 25 評議会の創造主は、私達ににこやかな顔をして答えてくれました。

私達は、あまりにも拍子はずれな答えに言葉を失いました。

私達の宇宙の最高レベルの創造主が力不足のために、彼を鍛えるために、第 25 評議会の創造主が、「すべての闇を生み出す創造主」の分身を作る事に許可を与え、その分身達によって私達の宇宙が混乱させられていたとは、何ともお粗末な話です。

第7章「光のピラミッド」に 仕掛けられた罠

PART1 闇を生み出すダークピープル

多くのスターピープル達は、今まで大変な思いをして地球と私達の宇宙のアセンションのために働いてきました。

中には、闇の創造主やダークピープル達にとらえられ、何万年もいえ、何十万年もの間、苦悶の日々を送ってきたスターピープル達もたくさんいました。

そして、まだ助け出す事ができずに「紫ピラミッド」に捕らわれたままのスターピープル達もいるかもしれません。

しかし、このアセンションが第24評議会の創造主と私達の宇宙の創造主を鍛えるために行われた物だったとすれば、このアセンションの中で長い事捕らわれて苦しんできたスターピープル達や命を失ったスターピープル達がいた事は、あまりにも悲しい出来事だったと思います。

そして「すべての闇を生み出す創造主」が、「自分が行った事は全て光の創造主を鍛える為だった。」といった彼の言葉は決して間違いではなかった事になります。

私は、自分達が「すべての闇を生み出す創造主」を光に帰した事は正しかったのか、悩んでしまいました。

しかしながら、彼を光に返さない事には、私達の宇宙の正常化は困難だったとも思われます。

「すべての闇を生み出す創造主」の分身達も、第 25 評議会の創造主によって光に返されていきました。

私達はこれで、地球のアセンションは問題なく進み、私達の体の辛さも抜けてくるだろうと予想していました。

スターピープル達や大天使達は、「すべての闇を生み出す創造主」の分身によって混乱させられた地球のエネルギーの浄化を必死で行っています。

しかし、「すべての闇を生み出す創造主」の分身が光に返されてから 2 日ほどたっても、私達の体の辛さや我家を包むネガティブなエネルギーの浄化は進んでいないようです。

私達は、自分達の家に関わるエネルギーや恵理さんの体にまとわりつくネガティブなエネルギーの正体を調べています。

私は、自分自身の高齢の父の体調が悪く、その影響が私達に出ているのかな、と思いましたが、どうもそれだけではないようです。

最近、毎晩のように美輝もうなされ、恵理さんの妊娠しているお腹も張って痛みが出たり、腕がつったりします。

出産予定日まで 1 か月ありますので、お腹が張るにしても少し早い気がします。

私達が、自分達を包んでいるエネルギーを調べると、ダークピープルを通して、さらに強力なダークピープルと出会いました。

このダークピープルは、「6 大天使による光のピラミッド」のセッションでも、セッションを受けてくださる方にも取り付いていたダークピープルですが、自分自身の手から闇

を生み出す事ができるダークピープルなのです。

本来、ダークピープルはこのような事はできないはずですので、創造主によって特別な力を与えられたか、作り変えられたかに違いありません。

私は、第 24 評議会の創造主に、このダークピープルを調べてもらう事にしました。

もしかしたら、「すべての闇を生み出す創造主」が関わっている可能性があるからです。そうなるとその処理をできるのは第 24 評議会の創造主しかいません。

第 24 評議会の創造主が出てきてくれて、このダークピープルを調べてくれました。

「TAKESHI さん、あなたが言うようにこの「闇を生み出すダークピープル」は、「すべての闇を生み出す創造主」の力を分けてもらっています。

もともと、このダークピープルは、「紫ピラミッド」の中心的な立場にいるダークピープル達のようなようです。

「すべての闇を生み出す創造主」は、そのような立場にある者達をさらに強化して、地球に深い闇をもたらし、皆さんのアセンションを妨害するつもりだったようです。

そして、彼らは TAKESHI さん達をターゲットに据え、攻撃してきています。」

「彼らは、人と一体化しているダークピープルですか、光に返す事はできないのですか。」と私はたずねました。

「多くのダークピープル達は、もうすでに人と一体化しているため、この闇を生み出すダ

ークピープルから「すべての闇を生み出す創造主」の力を分離する事しかできないようです。

彼らの多くが、自ら闇を生み出す力や他人をコントロールする力を欲しているために、「すべての闇を生み出す創造主」の力を望んでいるのです。

しかし、このままでは光 40% 台の地球とはいえ、大変な事になりますのでこの「闇を生み出すダークピープル」から「すべての闇を生み出す創造主」の力を分離しましょう。」

私達が、そのような会話をしている間に、スターピープルの一人が報告に来ました。

「TAKESHI さん、彼らはとても大きな闇のエネルギー体と繋がっていました。

先日見つけた闇の渦巻きほどには大きくはないのですが、大きな闇のエネルギーの塊が、いくつも私達の宇宙の中に作られ、その闇がこのダークピープルと繋がっていましたので、彼らはこの場所から闇のエネルギーを取り込んでいたようです。」

スターピープルと創造主達に大きな動揺が走りました。

そしてスターピープルと創造主達が、大きな闇の塊を調べていると、その背後には、「すべての闇を生み出す創造主」の分身がもう一人隠れていたのです。

あまりにも物理世界に近い所、そしてこのような闇のエネルギーの中に隠れていたために、さすがに第 24 評議会の創造主達も、この「すべての闇を生み出す創造主」の分身を見つけ出す事ができなかったようです。

私達はもう全てが終わったと考えていたのに、まだ「すべての闇を生み出す創造主」の分身が隠れていた事、そしてこれだけ大きな闇のエネルギーの塊がこの光40%台の地球に作られていた事に大変なショックを覚えました。

「すべての闇を生み出す創造主」の分身はすぐに光に返され、この闇の塊も光に返される事になりました。しかしながら、まだこのようなエネルギーが残り、「すべての闇を生み出す創造主」の分身がいたという事は、これからも油断する事ができません。

PART2 仕組まれた創造主の罠

それから2日後、9月25日の事、私達に思いもがけない事が起こりました。

私のパソコンが急におかしくなって通常に作動しなくなりました。

そしてインターネットなどを立ち上げても「メモリー不足です。すぐに不要なファイルを閉じて再起動してください。」という警告が出てインターネットはおろかパソコンが使えなくなってしまったのです。またセキュリティソフトも十分に働く事がなくいつも無効化されてしまいました。

これはダークピープル達がインターネットを使って私達の妨害をしているのかと思い、私のパソコンをスターピープル達に調べてもらいました。

確かにインターネットを通して、ネガティブなエネルギーが私のパソコンの中に入って

いましたがそれだけが原因ではないようです。

しかしながら、私もこのままでは皆さんにアチューメントしたり、ブログを書いたりする事にとっても大きな支障が出ますので、何とかして欲しいとスターピープル達に頼んでいました。

そして翌日、パソコンの作業があまりできないので、リビングで恵理さんとおしゃべりをしていた時、私達が現在行っている「光のピラミッド」のセッションで、相手の方の憑依霊や相手に付いているダークピープルに関わるのをもうやめた方がいいというようなメッセージが届きました。

それは、私達が6大天使の光のピラミッドで、相手の魂にとりついていく憑依霊や偽ガイドなどを取り去っていく作業が、深い闇の中にいる力の強いダークピープル達やサイキックな力を持った魔道士達を相手にするようになってきたことを心配しているようです。

セッション中に具合が悪くなったり、恵理さんの意識が遠くなって気を失いかけるような事が起こってきました。

そしてその後の恵理さんの疲労が激しく、妊娠している胎児にも影響が出るようになってきたのです。

私は そのメッセージの内容をスターピープル達に調べてもらいました。

そしてそのメッセージを発したスターピープルをここに呼び出しました。

それはシャンバラのスターピープル達だったのです。

彼らは、いつも物理次元の近いところから私達を見守り守護してくれている存在です。

「TAKESHI さん、私達は恵理さんや皆さんの体をずっと見ていました。

そして「6 大天使による光のピラミッド」の影響が、どの程度まで恵理さんに負担をかけているか調べていたのですが、これは予想よりも大きな負担がかかっている事が分かりました。

そして恵理さんと TAKESHI さんの肉体だけでなく、魂やスピリットレベルまでにも闇のエネルギーが入り込み、このままではお2人の波動がどんどん落ちていく可能性があります。

これは「6 大天使の光のピラミッド」を行う事によって、闇の深い世界へと皆さんを誘導して、皆さんを傷つけるための罠ではないかと私達は考えています。

創造主やクリスタルピープル達にも調べてもらったところ、クリスタルピープル達もその可能性があるという事がわかり警告を發しました。」

私は恵理さんの体調が、外出している時はよいのですが、自宅にいると一向に良くなならない事に対して疑問に思っていました。そのような影響が私や恵理さんに対してあったのだという事が理解できました。

確かに、私達の家はいつも黄泉の世界や光40%台前半の世界にゲートを開かれて、そこから闇のエネルギーが流れ込んで来ることが良くあります。

また最近、セッションを受ける人を通して、ネガティブな感情エネルギーが流れ込み、美輝がうなされるという事が続いていました。

私は、これはどのような理由で起きているのかという事を調べるために、「6 大天使の光のピラミッド」を作り上げた創造主達を呼び出して尋ねました。

「皆さんが作ってくれたこの「6 大天使の光のピラミッド」によって多くの人達の過去性や感情の解放はできましたが、私達が相手の魂についている憑依霊や偽ガイドを取るときに、「紫ピラミッド」の力の強いダークピープルや魔導師達と関わり合って、その影響が恵理さんに出るようになってきたのですが、それは一体どういう事ですか。」

創造主の一人が答えました。

「私達は、相手の憑依霊を取り去ったり、相手の魂を通して「紫ピラミッド」のダークピープルと対抗するような事までは考えていませんでした。

「6 大天使の光のピラミッド」は、あくまでも過去生とその過去世から生まれてきた感情を解放するというアチューメントですので、今現在行われている「6 大天使の光のピラミッド」は、私達の想定を超えたものになっていると言えます。」

「では誰が、私達が憑依霊を処理したり、相手の魂についている偽ガイドや闇の魔導師、あるいはメデューサのような強力なダークピープル達と対抗するような事を仕組んだのですか。」と私は尋ねました。

先ほどの創造主は、「私達ではありません。」と答えました。

「では私達が、相手の憑依霊や偽ガイド、強力なダークピープルと対抗するように組んだ創造主はいますか。」と尋ねました。

すると1人の創造主が出てきました

「それは私が行いました。人々をより完璧に、光の多い世界に導くためには、この事を行わなければならなかったからです。」

私はこの創造主の言葉に少し疑問を持ちました。

もしかしたらこの創造主が、私達を罠にかけようとしているのかもしれないと疑ったのです。

すぐに第24評議会の「全ての公正さを司る創造主」にこの創造主について調べてもらいました。

すると「全ての公正さを司る創造主」は、私達にこのように教えてくれました。

「TAKESHIさん、この創造主には「すべての闇を生み出す創造主」のエネルギーが少しばかり流れています。

そしてこの創造主は、皆さんの宇宙の創造主とは少し異なるようです。」

私は、「全ての公正さを司る創造主」の意外な言葉に驚きました。

「「全ての公正さを司る創造主」よ、それはどういう事ですか。」

「この創造主は元々皆さんの宇宙の創造主ではないという事です。」

もしかしたら他の宇宙から連れてこられたか、他の宇宙の創造主の協力を得て「すべての闇を生み出す創造主」が作り上げたかどちらかでしょう。

「すべての闇を生み出す創造主」は、「闇の働きをする創造主」を生み出す事はできたとしても光の創造主を生み出す事はできないからです。」

私は第 21 評議会の他の創造主に、この創造主の事について聞きました。

1 人の創造主が私の質問に答えてくれました。

「私達はこの創造主と長く働いていますが、決しておかしい事をする創造主ではありませんでした。

私達の信頼も厚く、私達の上の創造主の意向を下の創造主に伝えるという働きをしていていました。」

私は「全ての公正さを司る創造主」こう言いました。

「この創造主は第 21 評議会の創造主の中では信頼を得ている創造主のようです。しかしながらこの創造主に「すべての闇を生み出す創造主」のエネルギーが流れていたとすれば、他の第 21 評議会の創造主をコントロールする事はおそらく簡単な事でしょう。

そして第 21 評議会以上の立場にいる創造主の意向も少しばかり異なった形で下の創造主達に伝えられて行った可能性もあります。

この創造主の行った事をもっと調べてください。」

「全ての公正さを司る創造主」は この創造主のエネルギーを見通すようにして調べています。

「確かに TAKESHI さんがおっしゃるように、この創造主には闇の力が働いています。その事によって第 21 評議会の他の創造主や第 21 評議会よりも下位の創造主達に何らかの影響が出ていた事は間違いがないでしょう。

TAKESHI さんを守護する大天使や明王達の力が制限されていたのも、おそらくこの創造主から指示が出ていたものと思われます。私達が、今調べてみてもやはり私達の意思が正確に下の創造主やスターピープル達には伝わっていなかったようです。」

PART3 第 21 評議会に君臨していた偽の創造主

私はこの第 21 評議会の創造主に本当の事を言ってもらうために「真実を明らかにする創造主」を呼び出しました。

そして「真実を明らかにする創造主」の前で聞きました。

「あなたが「大天使による光のピラミッド」を使って、私達が「紫ピラミッド」の内部深くに入りこみ、ダークピープル達や魔導師達と関わりあったのは何か目的があるのですか。」

この第 21 評議会の創造主は「真実を明らかにする創造主」の力に争っているようですが、このように答えたのです。

「私は「全ての闇を生み出す創造主」や「闇の働きをする創造主」を光に返した事に対して、とても不満を抱いています。

そして皆さんの宇宙が、アセンションして光の多い宇宙と闇が多い宇宙に分けられる事も反対です。

今地球では「紫ピラミッド」の者達がこの地球を支配していますが、その支配を揺るがすような事をしているみなさんの活動も許す事ができません。

私達はあなた方を「紫ピラミッド」の奥深い場所に捕えたいと思っています。

そして、今まであなたがたが解放したスターピープルや光の存在達の代わりに、あなた達の光を奪いたいと思っています。

あなた方の光は創造主の光ですから格別な光です。

その光を光40%台の世界にとどめる事は光40%台の世界の維持には欠かす事ができない事です。」

その言葉を聞いて多くのスターピープル達は、その残酷な思いに言葉を失いました。

「それでは私達が「6 大天使による光のピラミッド」のセッションを通して「紫ピラミッド」のダークピープル達と深く関わる事によって、私達の魂やスピリットを捕えたいとあなたは計画していたのですか。」

「そうです。
もう時間もありませんのでその計画は実行されようとしていました。」

私達がもしシャンバラのスターピープル達の言葉に気づかずに、「6 大天使による光の

ピラミッド」をやり続けたとしたら、「紫ピラミッド」のダークピープル達の罠にはまって、私達自身が光の世界に行く事ができなかったかもしれない。

そして、太陽種族の子供達も生まれる事なく、地球のアセンションも成功しなかったかもしれない。

私は第 24 協議会の創造主の「全ての公正さを司る創造主」に、この創造主の処理をどのようにしますかと尋ねました。

「TAKESHI さん、この創造主は、私達で処理を行います。

まだ調べる事がありますので、その調べが終わり次第、光に返したいと思います。」

第 24 評議会の創造主は「全ての闇を生み出す創造主」の分身を全て片付けたとしても、まだこのような創造主が残っていたという事に少しがっかりしているようです。

「わかりました。

では「全ての公正さを司る創造主」そのようにお願い致します。」と私は答えました。

やがてこの創造主は光に変えされたようですが、私達は非常に危ない所をシャンバラのスターピープルやクリスタルスターピープル達に助けてもらいました。

私はクリスタルピープルに尋ねました

「私のパソコンがおかしくなったりしたのもこの事と関係があるのですか。」

「これはあなた方の事を一生懸命守っていた創造主からのメッセージではないでしょうか。」とクリスタルピープルは答えます。

私は創造主に向かって、私のパソコンに関わった創造主はいるのですかと尋ねました。それと一人の創造主が私達の前に出てきました。

第2評議会の創造主のようです。

「それは私が行いました。あまり分かるような形で行うと、すぐに第21評議会の創造主に見つかってしまい、私達もすぐに光に返されてしまう可能性がありますので、第21章議会の創造主にわからないような形でTAKESHIさんにメッセージを送りました。」

それでパソコンのメッセージの意味がわかりました。

メモリーが十分ではないというのは、私達の生命力の危険を表していたのです。

そしてセキュリティソフトが壊れてしまったのも安全が保障されていない、というメッセージだったようです。

私はこの話が終わった後、自分の部屋に戻りパソコンをつけました。

するとパソコンには、あの「メモリーが不足しています」という警告も一切出ませんし、セキュリティソフトもきちんと作動しています。

そしてバックアップソフトが動かなかったのですが、今はバックアップも自動的に行われていました。

あまりにも現実的なレベルでの警告が行われていたので、第21評議会の創造主でも気付かなかったようです。

しかしこの事件が処理できた途端にパソコンが元のように動き始めるというのも不思議な話です。

私は続いてクリスタルピープル達と話をしました。

「私達が「6 大天使による光のピラミッド」で行っていた魂の浄化や魂についている憑依霊や偽ガイド等に対する対処はどのようにしたほうがいいですか。」

クリスタルピープルは、私達を見てにっこり笑うとこのように言いました。

「それは私達に任せてください。
現在「6 大天使による光のピラミッド」を見張っていたあの創造主が光に帰される事になりましたので、これからは私達が「6 大天使による光のピラミッド」を正当な形で行います。

TAKESHI さんは、これ以上光 40%台の世界に入り込む事をしないでください。

あなたの意識を使って隠されていた種族の行方を探したりする事も行わないでください。

これ以上あなた方が光 40%台の世界に関わると、あなた方自身の波長が落ちてしまい、光の保護区に入れなくなる可能性もあります。

また光 40%台の世界にいる多くの人達は、とても大きな感情のエネルギーを持っているので、その感情のエネルギーによって恵理さんの体調が不安定になったり新しく生まれてくる子供に何か問題が起きてはいけませんので、今月限りで光のピラミッドのセッションを終え、あなた方も光の世界に行く準備をしてください。」

「わかりました。
ではそうするようにしましょう。」と私は答えました。

9月末までは「6 大天使による光のピラミッド」の予約が入っていますので、私は恵理さん抜きで「6 大天使による光のピラミッド」のセッションを行う事にしました。

そして不要な過去世や感情の解放は私が行いますが、今まで恵理さんが見ていた魂についている憑依霊や偽ガイドをあえて見る事はせずに、クリスタルピープル達にその処理をお願いしました。

しかし、この第 21 評議会の創造主が行っていたことはこれだけにとどまらず、私達の守護をしていたスターピープル達をコントロールして、私達を攻撃したり、光の保護区やクリアリングルームに、誰にもわからないように、闇のエネルギーを流し込んでいたり、様々な仕掛けを私達の世界に行っていたことが分かりました。

第8章 地球のアセンション

を助ける種族の救出

PART1 人々を癒やすキャットピープル

私達は7月から3ヶ月にわたり「6大天使による光のピラミッド」のアチューメントを朝晩行ってきました。

そして9月末で恵理さんの出産のために、一度「6大天使による光のピラミッド」をはじめ、私達の活動を1ヶ月間休む事にしていました。

しかしながら9月の後半になって私達の「6大天使による光のピラミッド」のセッションは、またひとつの変化を迎えました。

それは10月になると、私達が光の保護区に入り、光40%台の世界と接する事がなくなるために、この光40%台の世界でやり残した事をやらなければならないという創造主の意向によるものだったと思います。

それが「紫ピラミッド」によって捕えられた種族達の解放です。

私達は何度も「紫ピラミッド」によって捕えられた種族の解放を行ってきました。

先日も創造主やダークピープル達の嘘を見抜く覚醒の種族達の解放を、私の未来世からの指示によって行いましたが、ここ数日の間に「6大天使による光のピラミッド」のセッションの中でいくつかの種族を解放する事になりました。

最初の種族は、看護婦の仕事をしている方のセッションを行っていた時、その方のゲートから「キャットピープル」と呼ばれる種族達がたくさん見つかりました。

このキャットピープルというのは、現実世界でもスピリチュアルレベルでも看護婦さんのような仕事を得意とする種族です。

特に傷ついた人達、あるいは傷ついた魂やスピリットを持つ人達を癒すという事を主な仕事としています。

このキャットピープルについてはとても秘密が多く、どこの星で生まれたのか、あるいはどのような歴史を辿ってきたのか、という事があまり分かっていません。

ただ必要な時に、必要な場所に現れて多くの人々の癒しを行うという事が彼女らのやり方の方ようです。

私達は天の川銀河を旅していた時、何度もこのキャットピープル達を見かける事がありました。

私がアスクレピオスと呼んでいるへびつかい座の星にいるスターピープルの医者のお神殿にもキャットピープル達はいて、傷ついた騎士団のメンバー達を癒していました。

また、ぎょしゃ座のカペラという星にあるイシスの神殿でイシスと共に多くの人々の癒しを行っていたのもキャットピープル達でした。

いくつかの星でこのキャットピープル達と出会えましたが、彼女達は、女神やスピリチュアルな医者の下で働き、多くのけが人やあるいは多くの精神的に障害を抱えている人達の治療にあたってくれたのです。

私達も天の川銀河の星々を旅する中で、多くの争いに出会い、人々を救助する機会がありました。その時は必ずと言っていいほどこのキャットピープル達のお世話になったものです。

このキャットピープルが地球に来ていた、という事がその時初めて分かりました。

おそらく古代エジプト時代に、彼女達は地球にたくさん入ってきて、多くの人達を癒す予定だったのでしょうが、私達の宇宙の歴史にその事が載っていない事から、キャットピープル達が、この地球に来たという歴史そのものが抹消されたようです。

そしてキャットピープル達は、さほど活躍する事もなく「紫ピラミッド」のダークピープル達によって囚われたようです。

私達がこのキャットピープル達の囚われていた場所を探し出し彼女達を解放すると、キャットピープル達はとても喜んでいました。

そして私達にこのように言ったのです。

「今まで私達は、奴隷のようにこき使われていました。

地球人として生れてきても、自分達の身も心もくたくたに疲れ果てるまで働かされてきました。

そして、私達の女性としての尊厳も奪われ、もう人間に転生することが地獄のように思っていたのです。

TAKESHI さん達に助け出された事によって、私達は本来の仕事をする事ができます。どうもありがとうございます。」

そうとう長い間、「紫ピラミッド」のダークピープル達によってスピリットを捕えられ、地球人として生まれてきたとしても、自分の

思い通りに生きることも許されず苦しい人生を送ってきたことでしょう。

キャットピープルは現実世界では看護婦さん達はあるいは施設などの介護士さん達として現実生活に生まれてくる場合があります。

確かに今の地球上ではこのような看護婦さんや介護士さん達はとても過酷な環境で働かされています。

おそらくこのキャットピープル達も看護婦さんや介護士さん達とひとつになって、過酷な環境の中で多くの人達の命を救う働きをしてきたのだと思われます。

PART2 星々の環境浄化をする種族

そして次に捕えられた種族を見つけ出したのは精神障害を持っている女の子のセッションを行っている時でした。

その子はとても優しい純朴な心を持っている子供なのですが、今までの過去性の中で、優れた才能や特別な能力を持っていたがゆえに、とても大きな抑圧を受けてきました。

そして陰陽師の祈禱師によって、自分の魂を闇の存在に捧げられるような経験をしたために、今世で生まれてくる時には、大切な能力や資質を持った自分の体やスピリットが傷つけられないように、障害を持って生まれてくる事を選択したようです。

彼女のセッションをやっていく中で、彼女のスピリットが様々な場所にとらわれ、そして抑圧を受けている事がわかりました。

そして彼女のスピリットの1つがとてまたくさんの者達と共に捕らえられている場所がありました。

彼女たちが捕えられている場所は、植物達が育つ事が許されないような不毛な砂漠地帯のように見えますが、これはどうやら本当の砂漠地帯ではなく、「紫ピラミッド」のダークピープル達によって作られた仮想の世界のようです。

この種族は一体どのような種族ですか、と私はスターピープル達に聞きました。

するとクリスタルピープルは、私の問いに答えてくれました。

「この種族は地球だけでなく、様々な星の浄化を行うために生み出された種族です。

この種族は時として肉体を持って生まれる事があります。

そして環境汚染によって汚された星々の浄化を行うのです。

そしてこの種族は小さな動物や植物達とも深く関わっています。

荒廃した砂漠のような土地を、美しい緑あふれるような土地に変えることができます。

あるいは、生命があまりいない星に様々な生命の種を持ち込み、その子孫を立派に育てていくというような事もこの種族の役割です。地球も、かつては緑が十分に育っていない星でした。

その当時からこの種族は地球に深く関わり、地球を緑豊かな星へと変える努力をしてきていたのです。

しかしながら、この種族もしばらく経ってこの地球から姿を消しました。

歴史の中ではこの種族は絶滅したと言われて
いますが、本当のところはわかっていなか
ったのです。

しかしながら今回この種族が見つかった事
によって、この種族は絶滅したのではなく、
ただ「紫ピラミッド」のダークピープル達に
よって捕えられていたという事がわかりま
した。」

私はこの種族に尋ねました。

「あなた方は、この場所に長く閉じ込められ
ていたようです。

私達とともにこの場所の外に出ますか。」

種族のリーダーのような存在がすぐに私達
のもとに来ました。

「私達はここで何万年もの間、閉じ込められ
ていました。

どうか助けだしてください。

私達はもうこれ以上ここにいる事はできま
せん。」

リーダーは、私達にすぎるような思いで答え
ました。

「分かりました。

それではスターピープル達、大天使達、彼ら
をこの場所からすぐに助けだしてください。」

私達の話が終わらないうちに、まるで雪崩の
ように沢山のスターピープル達が、この場所
から一斉に流れ出していきました。

一つ一つの存在は小さくて、まるでクリオラ
のような可愛い姿をしていますが、それが数
える事もできないほどたくさんの数の存在
がこの中に捕えられていたのです。

彼らはとても傷ついているようでしたので、その理由を聞きました。

「私達は不毛の砂漠を美しい緑の世界にする事が目的です。

しかしこの場所は私達がいくら働きかけても草1本、花ひとつ育とうとしません。

私達は自分の力の無さを徹底的に思い知らされ、絶望を味わっているのです。

私達がここにいる事は、私達の働きを否定するものです。

私達は何の力もない、そして生きる価値のない存在であると多くの者達が思い始めているのです。」

フレッドがこの場所を調べて、この種族のスターピープル達に言いました。

「ここは砂漠ではありません、何もない空間です。

「紫ピラミッド」のダークピープル達は、あなた方の力や希望を奪うために、あなた方に幻想の光景を見せているだけです。

どうか力を落とさないでください。」

この種族はその言葉を聞いて嬉しそうにしています。

「そうだったのですか。

これは私達のカ不足ではなく、初めから何もない空間だったのですね。

わかりました。

私達はしばらく私達の心やスピリットを癒す事にしましょう。

そしてまた私達が元気になったら皆さんと共に働かせてください。」

私はこの種族を見てとてもかわいそうな気がしました。

こんなに純粹で優しく、ある意味お人よしのスターピープル達を捕えて、彼らに絶望を味

あわせ、そのエネルギーを自分達の活動の源にしている「紫ピラミッド」のダークピープル達が本当に憎いと思いました。

私は「紫ピラミッド」の管理人を呼び出していました。

「この種族達はここから逃れる事を望んでいます。」

私が連れて行きますがいいですね。」

「紫ピラミッド」の管理人は涼しげな顔をしています。

「どうぞご自由にお連れください。」

本当はこの種族が捕らえられた場所を見つけられるのが嫌で、彼らはいろいろな妨害をしていたのですが、捕らえられた種族が見つかったらそれを解放しなければならないというルールがあるために、彼らはこの種族の解放を許しているだけなのです。

PART3 アルクツールス星と地球人のハイブリッド種族

私はこの2つの種族が見つかった後、創造主に尋ねました。

「創造主よ、私達がまだこの光40%台の世界で捕らえられていた種族達を見つける必要があるのですか、創造主はどのような計画を持っているのかを私達に教えてください。」

すると創造主はこのように答えました。

「TAKESHIさん、これはまだはっきりと皆さんにお教えする事ができないのですが、未来の太陽種族を生み出し、そしてそれを成長させるために必要な種族というものが、まだ

地球の光40%台の世界に閉じ込められているようです。

どうかその種族達を探し出す事をお手伝いしてください。」

そのように創造主は言いました。

あまり詳しい事を話すと、私達の意識を覗いているダークピープル達に、次にどの種族を探し出すのかすぐにばれてしまうので、創造主達も詳しい事は言えないようです。

しかしながら私達のセッションもあと4日で終わりです。

「紫ピラミッド」のダークピープル達にしてみれば、早くセッション終わって光40%台の世界から出て行ってくれと言いたいところでしょう。

そのようなダークピープル達のエネルギーが私達にサイキックアタックとなってどんどん襲いかかってきます。

恵理さんも出産予定は10月の中旬なのですが、子供の成長が早くて出産日まで待つよりは、早く産んだ方が良いという医師の判断もあって、私達は慎重にセッションを行う事になりました。

スターピープル達の話では、私達が助け出さなければならぬ種族は全部で5種族ほどあったようです。

今回助けだされた地球の自然を浄化するためのスターピープル達やキャットピープルもそのようですので、残り3種族となります。

私達は次のセッションに入りました。

それは9月29日土曜日の朝、私達の古くからの友人である方のセッションです

この時に、私達が探し出したスターピープルはアルクトゥールス星と地球人の遺伝子を持って地球人として生み出されてきた種族のようです。

この方の守護を、アルクトゥールス星の出身である魔法使いのマーリンが行っていた事からこの事がわかりました。

その方から開いたゲートによって「紫ピラミッド」の奥深くに、地球人とアルクトゥールス星のハイブリッドの種族達が隠されていたのです。

さほど多い数ではありませんが、もうすでに地球人としての肉体の特質を持っている種族のようです。

この種族は通常の地球人よりも神秘的な力や叡智に満ち溢れている存在です。

通常の地球人は、魔法や不思議な力、ミステリアスな能力というものをあまり持ちませんが、この種族はそのような能力を使って地球の神官やシャーマンとして働くために生み出された存在のようです。

マーリンがこの種族の事について教えてくれました。

以下はマーリンが私に与えてくれたメッセージです。

私達アルクトゥールス星のスターピープル達は、常にアルクトゥールス星に関わる人達を守護し導いてきました。

私達、アルクトゥールス星のスターピープル達は、あなた方地球人とアルクトゥールス星のスターピープル達の間、新しい種族を作ろうと思っていたのです。

アルクトゥールスはとても神秘的な力を持っている種族です。

目に見えないものを見る能力や操作する能力をこの種族は持つことができます。

特にスピリチュアルな世界において、この宇宙の叡智や宇宙の愛と結びついて、そのエネルギーを物理的な世界に移し替えていくという事が、このアルクトゥールス星の種族達の仕事なのです。

そして地球が進化してアセンションを行い、素晴らしい自然と愛に満ち溢れた星になる時、アルクトゥールス星のスピリットと地球人の肉体が結びつく事によって、この地球をさらに素晴らしい世界にする事ができます。緑豊かで自然あふれる地球に、この宇宙の愛と神聖なる叡智を降ろす事により、そこに育っていく人達はとても素晴らしい光に満ちたと種族として、神聖さに溢れた存在となるのです。

このアルクトゥールスと地球人のハイブリッドの種族は、これから地球を支えるシャーマンや神官として活躍する予定になっていました。

そのためにホーリーエレメントの力を受け継ぎ、ホーリーエレメントの五つのエレメントの光をその内側に秘めた種族となる事になっていたのでした。

私達を導き、そしてこの種族を作る事に大きな力を貸してくれたのも、ホーリーエレメントの種族達です。

しかしながら私達が生み出した種族は、とても純粋な愛と光を持っていたために「紫ピラ

ミッド」のダークピープル達によってすぐに捕らえられてしまいました。

そして彼らの遺伝子を研究されて、闇の魔導師や闇のシャーマン達がこの世界に生み出されていったのです。

地球で活躍している闇の魔法使い達も、この種族の遺伝子を利用して作られました。

私達はその事をととても悲しく思っています。私達がせっかく地球の進化のために作り上げてきた種族が、反対に地球を深い闇の中に落とし、多くの人々を闇の世界に導いていく事に利用されてしまった事をととても悲しく思っています。

しかしながら、今回このアルクトゥールス星と地球の人々のハイブリット種族が助け出された事に、私達はとても大きな喜びを感じています。

この種族は、私達の子供のような種族ですので、この子供達を助け出す事なしには、私達はアセンションへの道を歩む事ができないと考えていたからです。

あなた方によって、大切な子供達が助け出された事を、私だけでなくアルクトゥールス星の全ての者達が喜び感謝をしています。

そして私達は、再び協力し合いながら、この地球人とアルクトゥールス星のハイブリット種族を育てていきたいと思えます。

やがてこの子供達はアルクトゥールス星の遺伝子を持っている地球人の未来につながってくる事でしょう。

そのような方が、新しく生まれ変わる時は、その方の肉体にこのアルクトゥールス星と

地球人のハイブリット種族のスピリットが降りてくる可能性もあります。

そうすればもっと自然な形で、この宇宙と繋がり宇宙の根源の愛を受け取る事ができるでしょう。

その事を私達は心から願っています。

そして皆さんがこのアルクトゥールス星と地球人のハイブリット種族のスピリットを受け取っていただき、新しい未来の自分を生きてくださる事を心から願っています。

私達はそのため多くのアルクトゥールスのスピリットを持っている人達を守護し続けています。

マーリンのメッセージは以上のようなのです。

マーリンはかつてアルクトゥールス星のスターピープルだったのですが、地球人としての肉体を持って地球で転生を繰り返しながら生きてきました。

その理由のひとつが、自分達の種族が生み出した地球人とアルクトゥールス星のハイブリット種族を探すためだったようです。

そしてスターピープル達は、他の方のセッションの時に、もう一種族を見つけ出したようですので、残る種族はあと1種族ということになりました。

PART4 シリウスのスターピープルが育てた地球の種族

そして「6大天使による光のピラミッド」が明日までという前日の夜、最後の種族が現われてきました。

私達は種族を探しているという話をした後、共に瞑想に入りました。

セッションの前に、私は1時間ほど急に眠たくなって寝ていたので、その間に私の意識を使って創造主が捕らわれていた種族を探しだしている可能性もあります。

するとすぐに一つの研究所の施設が恵理さんのビジョンの中に現れました。

それはアトランティスやレムリア時代よりももっと古く、この地球に英知をもった地球人が生み出された頃の話です。

その頃、地球人は様々なスターピープルと地球生まれの種族達の遺伝子を組み合わせた種族をいく種類か生み出していました。

地球人の遺伝子の中にスターピープル達の遺伝子を組み合わせ、もともといた地球人よりもさらに進化したハイブリッドの種族というものを作り出そうとしていたのです。

それぞれのスターピープルごとに異なる遺伝子の組み合わせによる種族を作り出す事が許されていました。

特にこの施設ではシリウス系のスターピープル達がこの施設を運用し、彼らの研究によってとても優秀なスターピープルの子供達がこの地球に生み出されていたようです。

肉体はこの地球の種族の肉体なのですが、そこにいくつかの星のスターピープル達の遺伝子が組み合わせられて作られている新しい種族達です。

この時代に作られた新しい地球の種族は10種族ほどあったようです。

先日助け出したアルクツールス系の種族もその一つです。

そして残りの種族のうちの幾種族かは今も生き残り、現代の地球人を作り上げていったのです。

シリウス系の科学者達が作っている種族もその一つですが、他の種族よりもスターピープル達の遺伝子の配置が多い種族です。そのためにもすぐにでもスターピープルとして活躍できるほどの高い能力と資質を持っています。

そしてこの種族に宿るスピリットも、他の地球の種族とは異なって、高次の意識と深く繋がっているスピリット達だったのです。

「紫ピラミッド」のダークピープルや闇の創造主達は、自分達が十分に利用できる種族達はそのまま残し、その種族にダークピープル達の遺伝子を埋め込む事で、自分達の奴隷のように利用できる種族達をいくつか選びだし、地球の中心的な種族として残しました。

しかしながら自分達の指示に従わない種族達、あるいはより高次のスターピープル達の遺伝子が埋め込まれていてダークピープル達の遺伝子を埋め込む事ができないような種族達は全て捕えて「紫ピラミッド」の一番深い場所へ隠していたのです。

そしてこの当時、シリウス系のスターピープル達が作っていた新しい地球人も、そのようなすぐれた地球人でした。

地球に関わっているいくつかのスターピープル達の高次の遺伝子がある中に組み込まれていて、ダークピープル達の遺伝子が入り込む事を防御していたようです。

この種族の遺伝子を持った地球人が増え続ければ、ダークピープル達の支配が脅かされる可能性があるとして「紫ピラミッド」のダークピープル達は考え、この種族も捕えて閉じ込める事にしましたようです。

しかしこの種族達が見つかり、このスピリット達が解放される事によって、セッションを受けてくれた人からも涙がたくさん流れ出てきたようです。

この種族の事に関してクリスタルピープル達が私達に詳しい事を教えてくれました。この子供達は「星の子供達」と呼ばれていました。

それはこの「星の子供達」がいくつものスターピープル達の遺伝子を持って作り出された優良種族の基本形となるはずの子供達だったからです。

正確に言うと、スターピープルの遺伝子を使って生み出される地球の種族のパターンは2種類に分かれます。

この「星の子供達」達に代表される種族が一つ目のパターンです。

もう一つのパターンの種族は、スターピープルの遺伝子が組み込まれて作られたにもかかわらず、途中からダークピープル達の遺伝子が組み込まれて、ダークピープル達の遺伝子が優勢になってしまった種族です。

これが今の地球人です。

この地球人には、高次元と繋がる遺伝子やスターピープルとしての遺伝子を活性化させるような機能が外されてしまいましたので、スピリチュアルな事をあまり知らずに、物理

的世界にフォーカスした種族として育ってきました。

戦うことや人を支配すること、経済的な利益を追い求めることに興味を持っているのは、ダークピープルの遺伝子が入れ込まれているためです。

そして今日ここに発見された「星の子供達」の種族は、現在の地球で中心となっている種族とは異なり、大切な役目を持って生み出された種族です。

彼らは特別な方法によって作り出されました。

現在、地球人として生きている種族は、スターピープルとしての遺伝子の活性度が非常に低い種族であり、少しずつ成長させていく種族だったのですが、「星の子供達」はスターピープルとしての遺伝子の活性度がとても高く、最初から高次元の存在であるスターピープルや創造主と深く繋がる事ができる遺伝子を持っている種族です。

ダークピープル達は、この種族にもダークピープルの遺伝子を埋め込み、自分達の部下として利用しようとしたのですが、この種族にはそれができませんでした。

そのために、この種族がたくさん地球上に生まれるとダークピープル達の支配を覆して、スターピープル達が中心となった世界を作る可能性がありました。

そして、シリウス星系のスターピープル達もその事がよく分かっており、この種族の遺伝子がダークピープルの遺伝子に変更されないように、特別な仕組みをこの遺伝子の中に組み込んで行ったのです。

このシリウス星系のスターピープル達は、創造主達とも深く繋がっていたので、とても強い愛の光や創造主の光を受け止める事ができるようにしていたのです。

そのためにダークピープル達はこの種族を捕え、この種族を生み出す働きをしたシリウス星系のスターピープル共々、「紫ピラミッド」の奥深い場所へ閉じ込めたのです。そしてこの種族が持っているとても大きな光を自分達の活動の源としてきました。

この「星の子供達」は、地球人を新たに進化させるための全ての要素を持っています。今この地球上で中心的な種族である地球人は、その進化の度合いがとても遅い状態にされています。

しかしながら今回見つかった「星の子供達」が地球上に肉体を持って生まれるならば、地球人の進化は加速度的に進みます。

厳しい事を言うならば、今地球上に生きている地球の種族は、ダークピープルの遺伝子が組み込まれているが故に、その遺伝子の修復を行わなければ、進化をするよりも闇の世界へと向かって落ちていく人達の方が多いのです。

しかしながら今回見つかった「星の子供達」のスピリットを持つ人達は、闇の世界とはとても強い反発力を持っていますので、ダークピープルや闇の創造主達の影響を受ける事なく、光の世界に向かって進化していける事と思います。

そして彼らのスターピープルとしての遺伝子の活性度は非常に高いので、今現在活躍し

ているアンドロメダやシリウス、プレアデス、アルクトゥールスなどの高次の遺伝子やホーリーエレメント、そして物理的な肉体を持たない様々なスターピープル達の遺伝子を取り込む事が可能なのです。

今地球人として中心的に働いている地球人達は、ダークピープルの遺伝子の修復さえできれば、ある程度のスターピープル達の遺伝子を取り込む事は可能です。

しかし、この「星の子供達」はさらに高いレベルまでのスターピープル達の遺伝子を取り込む事ができるのです。

地球の未来種族である太陽種族というのはこの高次のスターピープル達の遺伝子を取り込む事なしには出来上がりません。

本当の事を言うならば現在の地球の種族では太陽種族を生み出す事は、かなり困難な事なのです。

しかしながら今回見つかった「星の子供達」やアルクトゥールスとのハイブリッドの種族達のスピリット、そしてそのスピリットによって構成される新たな地球人の肉体というものは、より高次のスターピープル達の遺伝子を取り込む事を簡単に行います。

また今、あなた方の宇宙がアセンションの扉を開いている「愛で統一された宇宙」のスターピープル達の遺伝子をも取り込む事が可能なのです。

この特別な遺伝子を取り込む事が可能な優良種族の誕生なくしては、太陽種族そしてその先にあるクリスタルピープル達の誕生もありえないと言って良いかもしれません。

皆さんがこの光40%台の物理世界から分離する前に、どうしてもこの種族のスピリットだけは助け出さなければならなかったのです。

この種族のスピリットと遺伝子がなくては、地球人が太陽種族を生み出すのはとても難しく、そして長い時間がかかった事でしょう。

今日見つかった種族のスピリット達そしてそのスピリット達が地球人に生まれ変わる事によって出来上がる地球人の肉体があれば、そこに多くのスターピープル達のより優秀な遺伝子が組み込まれて、これから300年400年先には優秀な太陽種族がどんどんと生み出されていく事になるのです。

そうなれば、あなた方の子供である美輝さんや結貴さん達の遺伝子もこの中に多く組み込まれ、さらに飛躍的な進化が望めるでしょう。

もしこの種族が、このような形で「紫ピラミッド」の中に閉じ込められる事なく、そのまま地球上で育っていたならば、本来はレムリア・アトランティス時代に地球はもっと大きなアセンションを迎えていた事でしょう。このスターピープル達がしっかりと地球に降り立って、この種族達はアセンションを支える重要な役目を担っていたと思われれます。

そうなれば、この時点で地球人の未来は大きく変わっていました。

今頃、地球は、天の川銀河の代表的な星として、天の川銀河のスターピープル達の統合を、現在の時点で終え、太陽種族と同じような種族が、もうすでに生み出されていた事でしょう。

各評議会の創造主の一覧

そして天の川銀河のみならず皆さんの宇宙も大きく変わっていたと思われます。

しかしながら「宇宙に闇をもたらす創造主」の働きによって、この地球ならのみならず皆さんの宇宙は闇の多い世界へと変えられてしまったのです。

そしてこの種族も地球に生まれて活躍する事なく終わってしまいました。

今その時の過ちが皆さん達の手によって修復され、新たな未来がここに始まったという事を私達はあなた方に伝えたいと思います。

○各評議会の創造主とスターピープル一覧

	創造主の役割 アセンションを妨害する理由
第 23 ~24 評議会	全ての創造主を指導する立場にある創造主
	第 24 評議会の「全ての闇を生み出す創造主」は自ら宇宙を創造し支配したいと考え闇の創造主を裏で操っていた。

<p>第21 ~22 評議会</p>	<p>全ての創造主を指導する立場にある創造主</p> <p>「宇宙に闇をもたらす創造主」によって創造主の成長が行われるはずだったのだが彼の闇が強くなり私達の宇宙を支配していたことが判った。</p>
<p>第20 評議会</p>	<p>私達の宇宙や幾つもの宇宙の物理的世界。スピリチュルな世界を統治する</p> <p>自分の中の闇の部分を取り離し光だけの創造主になろうとしたが、分離した闇が独自の闇の創造主に成長し創造主大戦争を引き起こした。</p> <p>この創造主が自分が切り離した闇と統合することは今回のアセンションの一つの目的だった。</p>
<p>第18 ~19 評議会</p>	<p>第20評議会から生み出された各系列の最高次元の創造主達。「愛の創造主」「守護の創造主」「光と闇の創造主」が長い時間の封印を解かれて復活</p> <p>「全ての闇の創造主を統治する創造主」もこの評議会の創造主</p> <p>「始まりと終わりの創造主」が闇にまみれ、他の3人の創造主との間に創造主大戦争を引き起こし、3人の創造主とその系列の創造主を封印し、闇の創造主がいくつもの宇宙を統治するようになった。</p>
<p>第17 評議会</p>	<p>物理的な宇宙を管理する最高責任者。5人の創造主がひとつの意思に基づいて動いている</p> <p>私達の宇宙を光に満ちた宇宙にするために、地球のアセンションを通して創造主達を再構成しようと考えていたが、「変化の宇宙」の創造主達の介入により予定が大きく狂ってしまい、地球のアセンションは混乱した。</p>

	それを収拾する為に物理世界にも介入してはたらいてくれている。
第16評議会	<p>創造主達の指導を行い、宇宙創造の管理を行う 私達の活動をサポートする「時と空間を司る創造主」もこの評議会の1人</p> <p>第17評議会によって第16評議会の中に、下位の評議会の創造主を成長させるために、あえて問題を引き起こす創造主達が作られた。彼等が「変化の宇宙」の創造主達により強化され、第17評議会も手におえない程に、凶悪化してしまい「すべての闇を作り出す創造主」を中心に私達の宇宙の支配をもくろみ、私達の活動に介入してきた。</p>
第15評議会	<p>物理次元を持つ宇宙に関わる最高次元の創造主。 アセンション計画の創始者私達を地球に降ろした創造主。</p> <p>異なる宇宙の創造主達にコントロールされて他の宇宙とのゲートを開く。 第15評議会から出ていった創造主「全ての闇の宇宙を統括する創造主」により闇に満ちた宇宙が数多く作られ、地球のアセンションを妨害する為に多くの罠が仕掛けられる。</p>
第13評議会	<p>私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて創造主達の指導を行う。</p> <p>5人いる第13評議会の創造主のうち3人が、「すべての創造主を指導する創造主」を生みだした創造主により意識をコントロールされ「すべての創造主を指導する創造主」を擁護し、地球のアセンションを妨害していた。</p>

第12評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて創造主達の指導を行う。
	第12評議会のリーダー的存在である「すべての創造主を指導する創造主」が下位の評議会の創造主の働きを多様性のある宇宙を創るという事で擁護していた。そして自分もこの宇宙の実権を全て握るために、他の宇宙の創造主を巻き込みアセンションの妨害をおこなってきた。
第11評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて全ての宇宙の創造を行う責任者
	「感情に飲み込まれた創造主」が、「略奪の宇宙」「無機質の宇宙」「カオスの宇宙」などから高い能力を持つ創造主やダークピープルを地球に招き入れ、アセンションした世界の破壊をもくろむ。
第10評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて全ての宇宙の創造を行う責任者
	第10評議会の創造主達と対立する「混乱の宇宙を作った創造主」が地球にアセンションを妨害する為にさまざまな計画をめぐらし、自分達の宇宙の創造主を利用したり、他の宇宙からの創造主を招き入れる。
	創造主の役割と創造主の墮落の原因
第9評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて管理や指導を行う。
	「リセットの創造主」が、創造主の学びを行わせるために、下の創造主の正義感や判断力を忘却させ、混乱に陥れ

	る。
第8評 議会	<p>全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。</p> <p>私や恵理さんと同じスピリットを持つ創造主が、宇宙の様々な世界の探査を行う。</p>
	<p>第9、第10評議会に、下の宇宙の出来事を報告する「全てを見渡す創造主」が「リセットの創造主」により正義感を失われ、支配欲を持ち「怒れる創造主」を作ったり、宇宙を支配のための企てを行う。</p>
第7評 議会	<p>全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。</p> <p>「全てを見守る創造主」がリーダー</p>
	<p>上の評議会から闇を持った創造主として生み出された「怒れる創造主」が評議会に反乱を起こし全ての宇宙での闇の創造主の大元となる。</p>
第6評 議会	<p>全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。</p> <p>「全ての創造主の働きを持つ創造主」がリーダー</p>
	<p>「変化を促進する創造主」が、創造主を成長させたいという理由で宇宙に闇のエネルギーを流すが、本当の理由は宇宙の支配。</p>
第5評 議会	<p>第4評議会が作った全ての宇宙を管理。「陽の働きを持つ創造主」がリーダー</p>
	<p>第4評議会の創造主達から騙されて闇に落ちた「暁の光の創造主」が下部の創造主の光を奪う。</p>

<p>第4評 議会</p>	<p>1人1人の創造主が、独自に宇宙の原型を作り出し、スターピープルと下部の評議会に創造を委ねる。お互いの宇宙にはあまり関わらない。</p>
<p>第3評 議会</p>	<p>「光を生みだす創造主」と「力を生みだす創造主」が対立していたが共に闇の創造主となり、2人が手を組んで宇宙の支配をもくろむ。下部の評議会の創造主達を闇の創造主に仕立てあげていった。</p> <p>「道を指し示す創造主」を中心に、第4評議会の創造主によって作られた宇宙の細かい部分を創造し運営する。他の創造主を信頼するあまり闇落ちた創造主を放置する。</p> <p>「宇宙の創造を管理する創造主」や「道を作り出す創造主」が闇の創造主となり、この宇宙を光の創造主から奪い取るために、闇の創造主達を地球の各地に配置しアセンションを妨害してきた。彼等は第4評議会の創造主に操作されていた。</p>
<p>第2評 議会</p>	<p>「栄光の創造主」を中心に第3評議会によって作られた宇宙の創造と運営を手伝い、第1評議会の働きを管理し手助けを行う。様々な宇宙の中で大きな問題が起きた時はその解決にあたる。</p> <p>第3評議会の闇のエネルギーによって過去に創造主大戦争を引き起こした。今回も闇のエネルギーの影響で、第2評議会の中心的な創造主が闇に落ち、宇宙を混乱させ、アセンションを妨害し、私達にも大きなサイキック・アタックを行なった。</p>

第1評議会	<p>「源の創造主」をリーダーに「光彩の創造主」等が上の評議会から託された宇宙を具体的に運営する。また物理世界に生きる多くの存在達の成長を助け、宇宙連合へ迎え入れる。</p>
	<p>上位の評議会からの闇のエネルギーの影響で、第1評議会の創造主のリーダーである「創造主の独自性を育てる創造主」等、主だった創造主が闇の創造主となり大きな勢力を作り、光の創造主を圧倒していた。</p> <p>そのために地球を始め多くの宇宙に闇がはびこり、ダークピープルが宇宙を荒らしまわる事となった。</p>
物理的宇宙	<p>宇宙連合によって生み出された宇宙、多くの銀河や星団に別れ独自に発展している。</p>
	<p>闇の創造主やダークピープルによって地球だけでなく多くの星々が闇が多い世界となり、人々の成長を阻害している。</p>

★物理世界を持つ宇宙

○第1レベル 天の川銀河の中の創造主

階層としては一番下の階層の創造主です。主に星々や星座の働きを保ち、星に存在する生命達を生みだします。

彼等は星座の創造主とも呼ばれています。

その上には、天の川銀河全体の管理と創造を行う創造主もいます。

○第2レベル 局部銀河の創造主

私達にとって観測可能な宇宙（ユニバース）の中でも、天の川銀河やアンドロメダ銀河を含む局部銀河が一つの宇宙の単位となって

います。

この局部銀河を治める最高の創造主は、私達が「界王」呼んでいる創造主で彼のもとに多くの創造主が役割を分担して存在しています。

私は、局部銀河の運営にたずさわる創造主を「グレートゴッデス」と呼んでいます。

特にグレート・イエスやグレート・マリアは地球の事をとても大切にしてくれています。

○第3レベル 観測可能なユニバースを統治する創造主

物理的な世界を持つ宇宙（ユニバース）を直接統治する創造主達です。

主に第4レベルの創造主に対応する創造主達がいて、第4レベルの創造主の指示のもとに単一宇宙であるユニバースを運営しています。

○第4レベル 多次元宇宙を統治する創造主

観測可能な宇宙だけでなくパラレルワールドも含む多次元宇宙を統治する創造主達の世界です。

そのリーダーは、エンソフと呼ばれる創造主です。彼のもとに、星々を創造する創造主、人々の運命を司る創造主、宇宙の安定を保つ創造主、ドラゴンや精霊を生き育てる創造主、4大エレメントを駆使して宇宙を創造する源のエネルギーを作る創造主、叡智ある存在が適正に育っているか調べる創造主などが存在して、多次元宇宙の創造と運営を行っています。

★スピリチュアルな宇宙

○第5レベル 物理的な宇宙を創造し運営

する創造主

このレベルの創造主からは、たくさんの階層と役目を持った創造主が存在します。

物理的な宇宙を創造し運営する役目を持ち、私達の物理世界にも関われる創造主達です。第1評議会の中心的な創造主達になります。リーダーは、「源の創造主」「光彩の創造主」で宇宙のスーパーコンピューターを管理する創造主なども含まれます。

○第6レベル 物理的な宇宙を管理しスピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第2評議会、第3評議会の創造主達で、上位の評議会の創造主の指示のもとにスピリチュアルなレベルでも宇宙を創造していきます。

彼等は、上位の評議会の決定を自分達の評議会で議論し、どのような方法で宇宙の創造と運営を実行するか決めて行動します。

○第7レベル スピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第4評議会の創造主で、物理的な宇宙の元となるスピリチュアルな宇宙を作ります。この宇宙の原型を基に、第3評議会と第2評議会の創造主やスターピープル達がスピリチュアルな宇宙の細かい創造を行います。彼等は、マルチな能力を持つ創造主で1人1人が独立して、自由に宇宙の創造を行う権利が与えられています。

○第8レベル 創造された宇宙の管理を行う創造主

第5評議会以上の創造主達は、宇宙の創造は行いませんが、彼等よりも下の評議会の創造主が作った宇宙が適切に運営されているかどうかの検査を行っています。

非常に高い能力を持っている事はもちろん

ですが、どの次元にも自由に入る事ができ、多くの宇宙を見守っている創造主です。

○第9レベル いくつもの宇宙を管理する創造主

第9評議会以上の創造主達は、私達の宇宙以外にもいくつもの宇宙に関わり創造や管理を行うようになります。

宇宙連合の評議会について

宇宙連合は、私達の天の川銀河やアンドロメダ銀河だけでなく多くの星団や星雲が含まれる宇宙をいくつも束ねた大宇宙を見守るグループです。

私達は、宇宙の本当の姿を未だ知りませんが、私達にとって観測可能な宇宙をユニバースと呼ぶのなら、そのユニバースの中に存在している創造主やスターピープル達の連合と考えてもよいと思います。

しかしこのユニバースの中にも計り知れない銀河が存在しているのも事実です。

また、私が語る話はスピリチュアル・レベルの話ですので、実際の天文学の話とはかなり異なるという事だけをご理解ください。

先ず宇宙連合は、宇宙を創造し運営する創造主達とその仕事をサポートするスターピープル達の集まりです。

創造主やスターピープルの能力や資質、そしてその働きによって異なる階層の評議会に別れて活動しています。

その階層のリーダー的な創造主達とスターピープル達によって評議会の会議が行われ、自分達の行動が決定されます。

第1評議会は、宇宙連合では一番下の評議会として、物理的な宇宙の運営に当たります。

第1評議会は、創造主もスターピープルも最も数が多く、その役目も多岐にわたります。この評議会に属するスターピープル達は、物理的もしくは半物理的な体を持つスターピープル達ですので、地球を始め物理的な世界を持つ他の星々にも関わる事ができます。そして、地球人も含めて、まだ十分に成長していない人々に対して、意識進化のための様々な取り組みを行います。

宇宙連合の第1評議会は、物理世界を持つ多くの銀河や星団に関わり、その銀河や星団、もしくは星々の平和を守るための活動を行います。

第1評議会の中には、アシュタール連合のように独自のグループを作って活動している者達もいますが、彼等も第1評議会の指示のもとに動いています。

また第1評議会は、スターピープルの説明のところでご紹介したように、未発達な星々の種族を成長させスターピープルへと導く仕事も行っています。

この宇宙の中で一つでも多くの種族が愛と叡智に目覚めて宇宙の平和のために貢献できるようにする事が第1評議会の目的でもあります。

第2評議会と第3評議会は、スピリチュアルな宇宙と物理的な宇宙の創造に当たります。

もちろん物理的な宇宙に関しては、第1評議

会が中心となって創造活動を行うようですが、第1評議会を指導し、より良い宇宙を創る事が彼等の仕事でもあります。

しかしながら、これからのレポートでもご紹介するように、第4評議会に属する創造主が闇に落ちてしまった事で、第3評議会、第2評議会の創造主達も大きな闇に巻き込まれる事になりました。

その結果、第3評議会のほとんどのスターピープル達が闇の世界に閉じ込められ、第3評議会の仕事が順調におこなわれていないという事態に陥っていました。

第4評議会は、スピリチュアル・レベルの宇宙の創造を行い、物理的な宇宙のひな型を作り出していきます。

この第4評議会の創造主は、自分が創造する宇宙の全てを任されているので、自分の考えだけで独自の宇宙を作り出す事ができます。

第5評議会から上の評議会は、物理的な宇宙の創造には関わりませんが、創造主達を指導したり、下の階級の創造主が作り出した宇宙を検査する役目を持つ創造主達の世界です。

第5評議会の創造主達は、宇宙創造に必要なエネルギーを、第4評議会の創造主達に供給します。

第4評議会の創造主が闇に落ち地球の支配を計画している事が分かったと、他の評議会の創造主やスターピープル達では対応できないので、彼等が中心になって地球の物理世界を調べ、この創造主達を処理する役目を担ってくれました。

○光の世界の区分

ここでは、まず光の地球といっても一つではなく、光に依じていくつもの地球に分かれている事をお知らせしておきます。

そして、ここでは大まかに60%台、70%台と書いていますが、本当は、1%単位で世界が異なっていますが、大まかな区分のみで説明させていただきます。

地球の光と闇の割合は、およそ光40%、闇60%、現在はもう少し光の割合が多い世界のようにです。

この割合の世界では、闇の力が強いので、戦

争やテロ、殺人や虐待、人種差別などが起こりますが、光の割合が50%を超えると、戦争や殺人などもほとんど起こらなくなります。また学びが必要な人には、その学びにふさわしい事が起こります。

60%台になると、愛と調和に満ちた人々が増えてきますので、人間としての完成を目指すような学びが始まります。

しかしそれは争いなどの人を傷つける事ではなく、どれほど愛を注げるか、とかどれほど人のために尽くせるかなどといった、とてもポジティブな学びになります。

また人々も、言葉でなく意思疎通ができるようになりますので、嘘を言ったり、心の中に隠し事ができなくなるような世界になるかもしれません。

そしてさらに大切な事は、スターピープル達に対する理解が求められるようになります。

更に光りの度合いが70%よりも強くなると、学びが少なくなり、愛と共に生きるようになりますので、争いや差別などもほとんど起こらずに調和に満ちた世界が繰り広げられます。

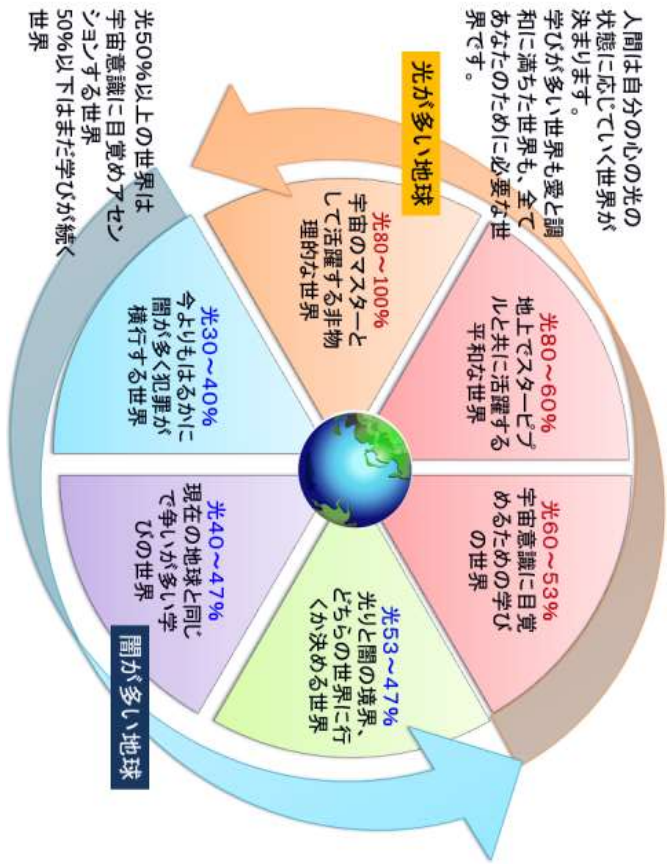
生きている人では70%台が最高クラスになるようです。

更に光りの割合が80%を超えると、もう物理世界に生きている人はほとんどいなくなり、宇宙の運営に関わる仕事を始める事でしょう。

それでは、どのような人がどのような世界に入れるか、創造主の極秘事項ですが、こっそりお教えしますので、少しでも上の世界に入れるよう努力してください。

またこの事は、私達の主観ですので、違うと思う人は信じる必要はありません。

人間は自分の心の光の状態に応じていく世界が決まります。学びが多い世界も愛と調和に満ちた世界も、全てあなたのために必要な世界です。



<p>光90% 台の世界 宇宙のマスターの世界</p>	<p>宇宙の管理者として働くスピリチュアルな存在達の世界。 憎しみや争いなどとは無縁で愛と調和のみが存在する世界。 また宇宙の管理者となるべく学びを行う世界。 自らが愛と光りになるために学びを行うスピリット達の世界。</p>
<p>光80% 台の世界 宇宙と地球に生きるマスターの世界</p>	<p>宇宙のために働くスピリチュアルな領域に生きる人々。 自らもスターピープルとなり、宇宙の中にある様々な問題の解決のために働く事を喜びとしているスピリット達。 ここに入る人は、宇宙で起きている事を深く理解し、常に真実を求め努力してきた人。 地球においては、地球の中にある不正を知り、それを正すために戦</p>

	<p>い、地球と地球に生きうる人々を自由で平和な者にするために常に努力してきた人々。</p> <p>この地球の闇を知りながらも、憎しみを捨て愛によって生きてきた人達。</p> <p>人間としてのエゴを捨て、自分の人生を他人のために奉仕してきた人達。</p>
<p>光70% 台の世界 物理的な 光の地球 での指導 者の世界</p>	<p>光80%の人達と同じように、地球の闇と闘い続けてきた人達の中で、自分のエゴや欲望を捨て、愛の人として生きる実践を行う人々。</p> <p>またスターピープルの事を深く知り、彼らと共に働ける人。</p> <p>自分の感情に振り回されずに常にニュートラルな立場にあって真実を追い求める人</p> <p>地球と人の事を、愛をもって考え行動してきた人達が、肉体を失った後に行く世界。</p> <p>現実世界に生きる人も少数存在し、地球の人達が光りの世界に行くためのサポートをスピリチュアル・レベル、現実レベルで行う。</p> <p>60%台の世界の学びを終えてからこの世界に来る事が多いようです。</p>
<p>光60% 台の世界 地球では 光の世界 として新 しく生ま れた世 界。 宇宙意識 に目覚め るための</p>	<p>60%台の後半の人は・・・</p> <p>常に正義と愛のために生きてきた人。</p> <p>欲望に振り回されず、欲望と感情を上手にコントロールできて、自分の中の光と闇を統合してきた人。</p> <p>スターピープルの事を理解し上手に付き合う事ができる人</p> <p>この世界は、さらに上の世界に行くための通過点として、肉体をも</p>

<p>世界</p>	<p>って学びを行う人達が入る世界。少数民族の人達の仲でも、一般社会を知りながらも、その社会に毒されず、常に祈りを行ってきたシャーマンや神官、少数民族の文化やしきたりを守ってきた人々。ここに属する人は、これからの「光の地球」をしっかりと守護し、人々を導いていく立場にある。</p> <p>60%前半の人は・・・ 光の世界にはいる為の教育が行われる世界。 地球や宇宙の仕組みを学ぶために生きてきた人達で、さらにその学びを続ける人。 しっかりと愛や調和を目指して生きてきたが、まだ十分に実現出来ておらず、自分の中の光と闇もしっかりと統合できていない人。周りの人に対して愛と奉仕の気持ちを持って生きてきたが、今まで宇宙や地球に対しての理解も十分でなくスターピープルの事もよく知らない人達が、学びを行うための場所。 この世界では争いや戦争、差別や虐待もなくなり、地球人同士でも愛に基づいた関係がはじまり、安らぎと光りに満ちた世界が生まれてくる。</p>
<p>光56%～59%の世界 光が多い学びの世界 光の度合いはイラストと異</p>	<p>この世界からアセンションした世界としてスターピープル達により保護される世界になります。 今の地球よりはさらに光がある世界で、戦争や争い、虐待、殺人などは減り、愛と調和に満ち、自然破壊などもなくなり環境問題も解決していく世界となるでしょう。</p>

<p>なりますが、こちらの度合いが最新です</p>	<p>この世界に行く人は、今の世界でも良心を持って生きてきた人で、人の役に立ちたいと考えて生きてきた人達です。</p> <p>そして、地球人としての進化を望む人がこの世界に入り、光の世界へ入るための学びを行います。</p> <p>この世界の学びは「愛の実践」です。</p> <p>宇宙の愛を身につけ、人のために奉仕する事がこの世界の学びとなります。</p> <p>この世界で学びを終わった人は、本格的なアセンションの世界である光60%以上の世界に生まれ変わります。</p> <p>強い欲望や支配欲を持った人や人と争う事が好きな人は入れません。</p> <p>人をだました人、人に不正を働く人、自己中心的な人は入れません。</p>
<p>光51%～55%の世界 光と闇の境界の世界 光の度合いはイラストと異なりますが、こちらの度合いが最新です</p>	<p>ここは光りの世界と闇の世界の境界線にあたる世界で、中間の世界とも呼ばれています。</p> <p>現在の地球よりは、光が強くなりますので、戦争や虐待などは少しずつ減ります。</p> <p>時間がたつにつれ、現在よりはまともな政治家や経済人が現れ、社会の変革も進むでしょう。</p> <p>この世界にはいる人は、戦争や支配、抑圧のある世界を嫌っている人で、もっと愛に満ちた世界、調和のある世界に入りたいと考えている人達です。</p> <p>また他人のために役に立ちたいと思い行動している人や他人に親切にする事が好きな人達がこの世界に入ってきます。</p> <p>ただしこの世界には、狡猾な地球</p>

外存在達もすでに入り込んでいるので社会の混乱や自然災害も起こりますので、その様な事を乗り越えていく事が、この世界の人々の学びとなります。

ヒーリングやスピリチュアルな仕事をしている人でも、人々の幸福のために働いている人は、この世界に入りますが、物欲や支配欲、名誉欲のためにしている人は、ここからさらに下の世界に行く事になります。

光40%
~50%
の世界
現在の地球と同じ
学びの世界

ここからが、アセンションとは反対にディセンションした世界となります。

光40%台の世界は、今までとほとんど変わらない世界で、戦争や争い、テロ、詐欺、レイプ、傷害などが日常的に起こっている世界です。

光の度合いはイラストと異なりますが、こちらの度合いが最新です

経済的な侵略によって、世界の人々は貧富の差が激しくなり差別を受けます。

宗教、技術、論理もすべてが争いのために利用されます。

この世界に行く人は、自然災害や戦争、原発の事故なども含め、現在の地球が体験する未来をともに体験する事になります。

現状の世界を好みお金儲けやぜいたくな生活をしたい人達、人や自分や他人にたいして不誠実な生き方をしてきた人達は、この世界にそのまま残るようです。

他人を支配しようと思う人、他人に依存したり、他人支配される事を好む人もこの世界にとどまります。

この世界は多くの地球外生命体達も存在しますので、彼等の支配をうけず自立していく事が、この世界の学びとなるでしょう。

<p>光30% 台の世界 闇が多い 学びの世 界</p>	<p>今の地球よりもさらに闇が多くなりますので、現在よりも状況はるかに悪くなります。戦争やテロが多発し、多くの人が争いや原発事故、自然災害に巻き込まれ苦難の多い人生を送る事になるでしょう。</p> <p>そして人々はその中で多くの事を学び目覚めていくための機会を待つ事になると思います。</p> <p>この世界には、多くの欲望に取り付かれ、他人を支配したり傷つける事を好んで行ってきた人達がいく世界になると思います。</p>
--	--